ONKYO

X-NFR7

センターユニット部

CD/SD/USB RECEIVER：NFR-7

スピーカーシステム部

SPEAKER SYSTEM：D-NFR7

NFR-9

CD/SD/USB RECEIVER

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに
保証書とともに大切に保管してください。

目次

3.タイマー

4.外部機器との接続･再生

その他の情報

主な特長

CD

- 音楽CD、MP3、WMA再生対応
- CD-R/CD-RWディスク対応
- レジューム機能対応

SD

- SD/SDHCメモリーカード対応
- MP3、WMA、WAV再生対応
- CD、FM/AMまたは外部アナログ入力からSDメモリーカードに録音（MP3、WAV）可能
- レジューム機能対応

USB

- USBマスストレージクラス
- MP3、WMA、WAV再生対応
- CD、FM/AMまたは外部アナログ入力からUSBメモリーに録音（MP3、WAV）可能
- レジューム機能対応

Bluetooth

- スマートフォンなどの音楽をワイヤレスで再生できるBluetooth機能搭載（Ver. 2.1 + EDR、プロファイルA2DP、AVRCP）
- Bluetoothスタンバイ機能対応

その他

- FM/AMラジオ搭載
- 光デジタル音声入力 2端子装備
- パソコンとUSBで接続して音声を再生できるUSB TypeB端子装備
- アナログ入力 3系統装備（入力レベル調整可能）
- 音質調整（重低音、低音、高音）、バランス調整可能
- スリープタイマー、タイマー 4系統
- 再生周波数帯域の広帯域化を図るWRAT (Wide Range Amplifier Technology) 搭載
- 別売りのデジタルメディアトランスポート（ND-S＊＊）やRIドック（DS-A＊＊）と接続すれば、iPod/iPhoneの連携動作に対応。高品位なサウンド再生が楽しめます。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

SDHCロゴは、SD-3C, LLC. の商標です。

Bluetooth®

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG、Inc.が所有する登録商標であり、オンキヨー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

AirPlay、iPhone、iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

“ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。
電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

● **「警告」と「注意」の見かた**：間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

● **絵表示の見かた**

△ 記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

感電注意

⊘ 記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

● 記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

必ずする

⚠ 警告

電源プラグをコンセントから抜く

● **故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く**
・煙が出ている、変なにおいや音がする
・本機を落としてしまった
・本機内部に水や金属が入ってしまった
このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解禁止

● **カバーははずさない、分解、改造しない**
火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

禁止

● **通風孔をふさがない、放熱を妨げない**
本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの天面や背面、底部などに通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。
・押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
（本機の天面から20cm以上、両サイドから10cm以上のスペースをあける）
・逆さまや横倒しにして使用しない
・布やテーブルクロスをかけない
・じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

● **水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない**
本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
・風呂場など湿度の高い場所では使用しない
・調理台や加湿器のそばには置かない
・雨や雪などがかかるところで使用しない
・本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

禁止

● **電源コードを傷つけない**
・電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
・傷つけたり、加工したりしない
・無理にねじったり、引っ張ったりしない
・熱器具などに近づけない、加熱しない
電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

必ずする

● **電源プラグは定期的に掃除する**
電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

⚠ 警告

使用上のご注意

禁止

● 本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない
火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機の通風孔、ディスク挿入口、ダクトから異物を入れない
- 本機の上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

禁止

● 長時間、音がひずんだ状態で使わない
アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

指のけが
に注意

● ディスク挿入口に手を入れない
けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

禁止

● ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない
ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

禁止

● レーザー光源をのぞき込まない
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

接触禁止

● 雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない
感電の原因となります。

禁止

● 心臓ペースメーカーを装着されている場合は、本機を使用しない
電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。

禁止

● 病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、車の中では本機を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

禁止

● 他の機器に電波障害などが発生した場合、本機の使用を中止する
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

禁止

● 長期間大きな音で使用しない
本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

電池に関するご注意

禁止

● 乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない
電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

接触禁止

● 電池から漏れ出た液にはさわらない
万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

禁止

● 不安定な場所や振動する場所には設置しない

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

● 本機の上にものを置かない

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったりしないでください。

注意

● 配線コードに気をつける

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

必ずする

● 屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグに関するご注意

必ずする

● 表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

禁止

● 電源コードを束ねた状態で使用しない

発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

電源プラグをコンセントから抜く

● 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

禁止

● 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

ぬれ手禁止

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

● お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。

使用上のご注意

高温注意

● 通風孔の温度上昇に注意

本機通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

禁止

● 音量を上げすぎない

- 突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

禁止

● キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったりデータが消失することがあります。

移動時のご注意

電源プラグをコンセントから抜く

● 移動時は電源プラグや接続コードをはずす

コードが傷つき火災や感電の原因になります。

禁止

● 本機の上にものを乗せたまま移動しない

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因になります。
グリルネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

電波に関するご注意

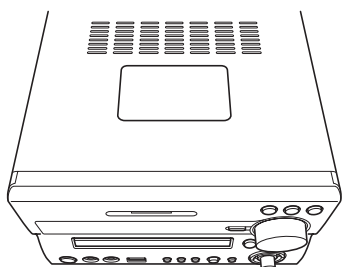
本機を使用する周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジや産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の機内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。

- 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかに使用を停止してください。混信回避のための処置等については、コールセンター(本書に記載)へご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コールセンター(本書に記載)へお問い合せください。

2.4FH1

2.4: 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH: FH-SS変調方式を表します。

すべてのBluetooth機能対応製品とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
本機とBluetooth対応機器との互換性については、各Bluetooth対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。一部の国では、Bluetooth対応機器の使用が制限されている場合があります。Bluetooth対応機器の使用については、お住まいの各自治体にお問合せください。

Bluetooth使用の際のご注意

本機は音質向上のためアルミフロントパネルや金属製のシャーシ、ケースを採用した構造となっています。
そのため天板の一部を樹脂製のパーツとしBluetoothのアンテナを内部に取り付けています。
Bluetooth機能をご使用になる場合は製品の上にものを置かないでください。

機器内部の点検について： お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をお勧めします。本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

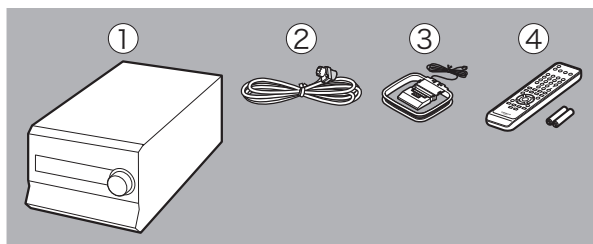
本機のお手入れについて： 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

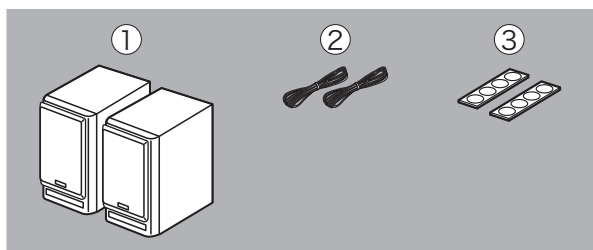
1. 準備
箱の中身を確かめる

ご使用の前に製品本体および下記の付属品が入っているかご確認ください。
- ( )内の数字は数量を表しています。
- 製品カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す識別記号です。

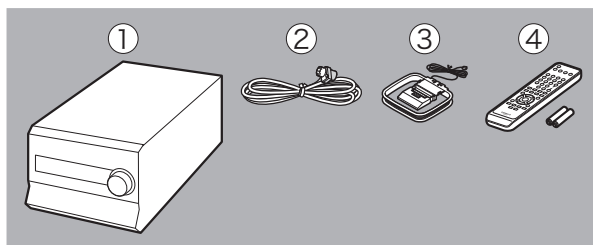
X-NFR7

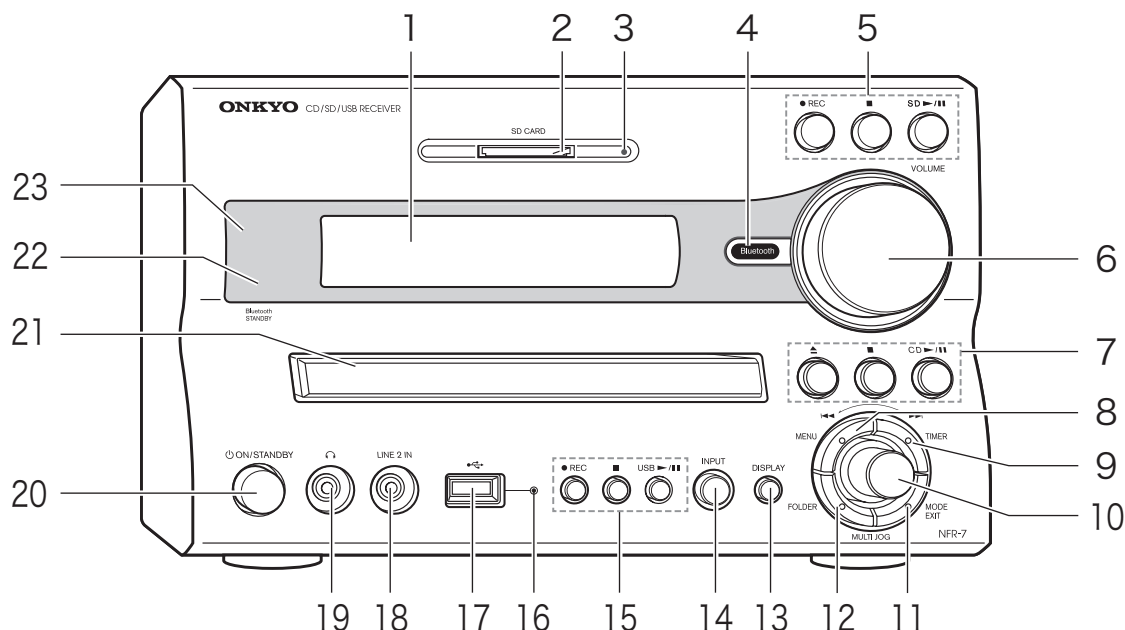
本製品の構成は、NFR-7(CD/SD/USBレシーバー)およびD-NFR7(スピーカーシステム)です。

NFR-7(CD/SD/USBレシーバー)

① 製品本体(1)
② FM室内アンテナ(1)
③ AM室内アンテナ(1)
④ リモコン(RC-872S)(1)/単4形乾電池(2)
⑤ 取扱説明書(1)
⑥ 保証書(1)

D-NFR7(スピーカーシステム)

① スピーカーシステム D-NFR7 本体(2)
② スピーカーコード1.1m(2)
③ スピーカー用コルクスペーサー(8)

NFR-9

NFR-9はCD/SD/USBレシーバーの単品モデルです。定格インピーダンスが4〜16Ω(オーム)のスピーカーと組み合わせてご使用ください。

① 製品本体(1)
② FM室内アンテナ(1)
③ AM室内アンテナ(1)
④ リモコン(RC-872S)(1)/単4形乾電池(2)
⑤ 取扱説明書(1)
⑥ 保証書(1)

各部の名前と主な働き

前面パネル

上図は、NFR-7で説明していますが、前面パネルの構成はNFR-9も同じです。

- 詳細については( )内のページをご覧ください。

1. 表示部 (➔P.12)

2. SDカードスロット (➔P.28、33〜34)
SD/SDHCメモリーカードを挿入します。

3. SDインジケーター
SDカードの再生/一時停止や録音時に点灯/点滅します。

4. Bluetoothボタン/インジケーター (➔P.45)
Bluetooth機能を使用するときに押します。
Bluetooth接続中は点灯、ペアリング中は点滅します。

5. SD操作部 (➔P.28〜29、33〜35)

- ●RECボタン:SDカードに録音します。
- ■ボタン:SDカードの再生や録音を停止します。
- SD►/❙❙ボタン:SDカードを再生または一時停止します。

6. VOLUMEつまみ/インジケーター (➔P.20)
電源が入ると上部のインジケーターが点灯し、ミューティングが働くと点滅します。

7. CD操作部 (➔P.23〜24)

- ⏏ボタン:ディスクトレイを開閉します。
- ■ボタン:CDの再生を停止します。
- CD►/❙❙ボタン:CDを再生または一時停止します。

8. MENUボタン
メニュー操作を開始します。メニュー操作中はメニューを終了します。

9. TIMERボタン (➔P.19、53、55、56)
タイマーや時計の設定を行います。

10. MULTI JOGダイヤル (➔P.23、28、37、48)
曲や登録された放送局を選びます。メニュー操作中は項目を選択し、押すと決定します。

11. MODE/EXITボタン
再生モードを選びます。タイマーや時計設定中は、途中で設定を終了します。

12. FOLDERボタン (➔P.23、28、37)
フォルダを選ぶときに押します。

13. DISPLAYボタン (➔P.19、25、30、39、49、50、54)
表示部の情報を切り換えます。

14. INPUTボタン (➔P.20、28、33、37、42、48、58、64)
入力を切り換えて、再生するソースを選びます。

15. USB操作部 (➔P.37〜38、42〜44)

- ●RECボタン:USBメモリーに録音します。
- ■ボタン:USBメモリーの再生や録音を停止します。
- USB►/❙❙ボタン:USBメモリーを再生または一時停止します。

16. USBインジケーター
USBメモリーの再生/一時停止や録音時に点灯/点滅します。

17. USB端子 (➔P.37、42)
USBメモリーを接続します。
この端子はPCには接続できません。PCとの接続には、後面パネルのUSB TypeB端子をお使いください。

18. LINE 2 IN端子 (➔P.60)
ポータブルオーディオプレーヤーやICレコーダーのヘッドホン出力などを接続します。

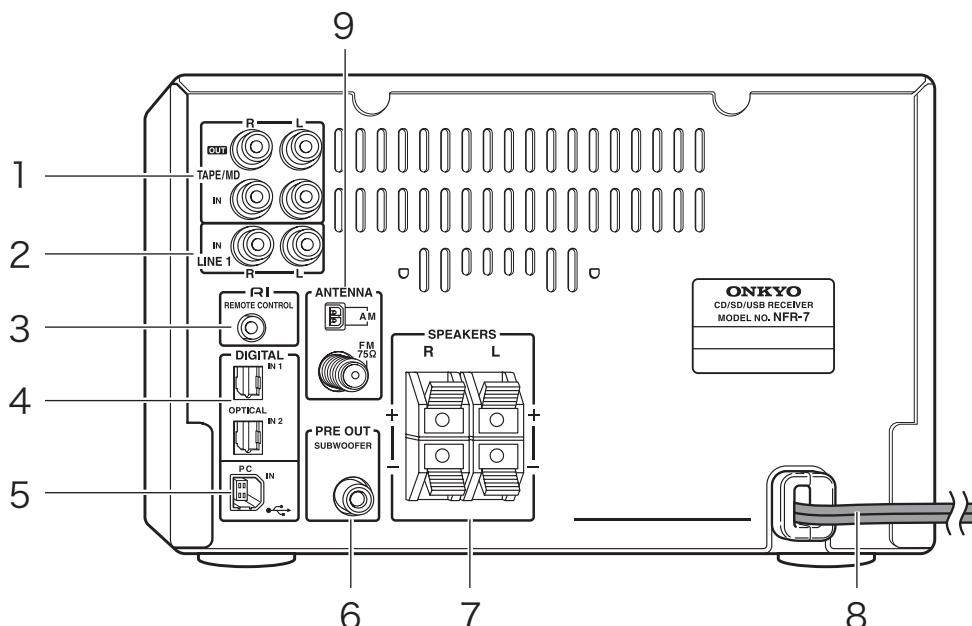
19. 🎧端子 (➔P.22)
ヘッドホンのステレオミニプラグを接続します。

20. ⏻ ON/STANDBYボタン (➔P.18)
電源のオン/スタンバイを切り換えます。

21. ディスクトレイ (➔P.23)

22. Bluetooth STANDBYインジケーター (➔P.46)
Bluetoothスタンバイのときに橙色に点灯します。

23. リモコン受光部 (➔P.18)

各部の名前と主な働き

後面パネル

1. TAPE/MD IN/OUT端子
外部オーディオ機器のアナログ音声出力(再生用)や入力端子(録音用)と接続します。カセットテープデッキやMDデッキを想定していますが、その他の機器との接続も可能です。

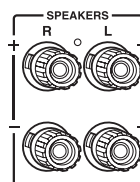
2. LINE 1 IN端子
外部オーディオ機器のアナログ音声出力と接続して、本機で再生します。

3. RI REMOTE CONTROL端子
RI端子付きのオンキヨー製機器と接続します。RI端子接続とアナログまたはデジタルで音声接続を行えば、機器間の連動などのシステム動作が可能になります。

4. DIGITAL IN 1/IN 2端子
光デジタル音声入力端子(PCM信号のみ)です。光デジタル出力端子を装備したテレビ、ゲーム機などと接続します。

5. PC IN端子
PC(Windows8/7/Vista/XP)のUSB端子と、USBケーブル(TypeA-TypeB)で接続します。

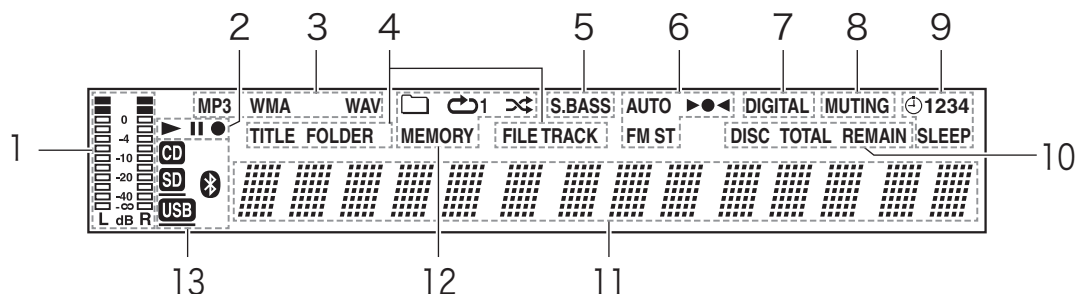
6. PRE OUT(SUBWOOFER)端子
アンプ内蔵サブウーファーとの接続が可能です。

7. スピーカー端子
スピーカーと接続します。
上図はNFR-7です。
NFR-9をご使用の場合、スピーカー端子の形状が異なります。

NFR-9 スピーカー端子

8. 電源コード

9. ANTENNA(AM/FM75Ω)端子

各部の名前と主な働き

表示部

1. レベル表示
音声レベルを表示します。

2. 動作表示
CD、SDカード、USBメモリーの再生/録音状態を表示します。

3. ファイルフォーマット表示
再生しているファイルフォーマットを表示します。また、録音中は録音のファイルフォーマットを表示します。

4. TITLE、FOLDER、FILE、TRACK表示
- TITLE：タイトルが表示されているときに点灯します。
- FOLDER：フォルダ番号、フォルダ名が表示されているときに点灯します。
- FILE：ファイル番号、ファイル名が表示されているときに点灯します。
- TRACK：トラック番号が表示されているときに点灯します。

5. S.BASS表示 (→P.21)
S.BASS機能が働いているときに点灯します。

6. FM/AM受信状態表示 (→P.47)
FM/AM受信時の状態を表示します。

7. DIGITAL表示
CDからSDカードまたはUSBメモリーへのデジタル録音時に点灯します。

8. MUTING表示 (→P.21)
ミューティング機能が働いているときに点滅します。

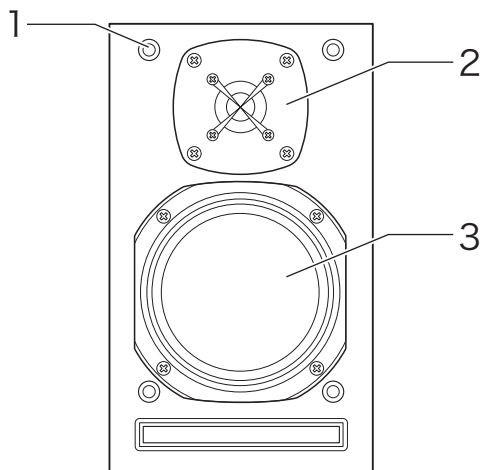
9. タイマー表示 (→P.52、55)
タイマーのオン/オフ設定状態を表示します。
数字：タイマー1〜4のうち、オンに設定されている番号が点灯します。

10. DISC、TOTAL、REMAIN表示
時間表示の内容を表します。

11. 主表示部
ソース名や再生時間、各情報などを表示します。

12. 再生モード表示
- 🗀：1フォルダ再生時に点灯します。
 (→P.24、29、38)
- 1：1曲リピート再生時に点灯します。
 (→P.25、30、39)
- ：全曲リピート再生時に点灯します。
 (→P.25、30、39)
- ：ランダム再生時に点灯します。
 (→P.25、29、39)
- MEMORY：メモリー再生時に点灯します。
 (→P.24、29、38)

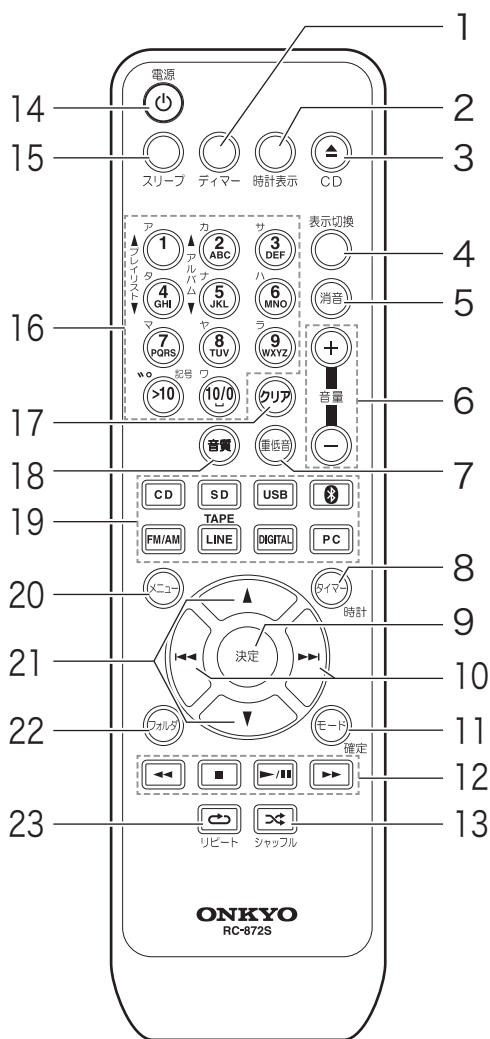
13. ソース表示
再生しているソースが点灯します。また、録音時は録音媒体が赤いラインとともに点灯します。

スピーカー

D-NFR7は左側スピーカーと右側スピーカーの仕様や形状は同じです。どちらを左側/右側で使用しても音質は変わりません。

1. グリルネット取り付けホルダー

2. ツィーター

3. ウーファー

各部の名前と主な働き

リモコン

詳細については( )内のページをご覧ください。

1. ディマーボタン (➔P.22)
VOLUMEインジケーターを消したり、表示の明るさを切り換えます。

2. 時計表示ボタン (➔P.19)

3. CD⏏ボタン
ディスクトレイを開閉します。

4. 表示切換ボタン (➔P.19、25、30、39、49、50)

5. 消音ボタン (➔P.21)

6. 音量 ＋/－ボタン (➔P.20)

7. 重低音ボタン (➔P.21)
重低音を強調します。

8. タイマー/時計ボタン (➔P.19、55)
タイマーや時計の設定を行います。

9. 決定ボタン
メニューの設定を決定します。

10. ⏮/⏭ボタン (➔P.21、24、29、38、46、49、50)
前後の曲や登録された放送局を選びます。

11. モード/確定ボタン (➔P.19、24、29、38、49、50)
再生モードを選びます。文字入力時は入力された文字を確定します。

12. 操作ボタン (➔P.24、29、38、46、47)

- ■:再生や録音を停止します。
- ►/❙❙:再生または一時停止します。
- ◄◄/►►:曲を早戻し/早送りしたり、FM/AMの周波数を合わせます。

13. 🔀ボタン (➔P.25、29、39)
ランダム再生を設定します。

14. 電源⏻ボタン (➔P.18)

15. スリープボタン (➔P.53)
スリープタイマーを設定します。

16. 数字ボタン (➔P.24、49)
曲や登録された放送局を選びます。また、文字入力に使用します。

17. クリアボタン (➔P.24、29、38、50)
メモリー再生の予約曲を取り消します。文字入力中は1文字ずつ消します。

18. 音質ボタン (➔P.21)
低音、高音を調整します。

19. 入力切換ボタン (➔P.20、58)
入力を切り換えて、再生するソースを選びます。
それぞれのボタンの詳細については、該当する項目をご覧ください。

20. メニューボタン
メニュー操作を開始します。メニュー操作中はメニューを終了します。

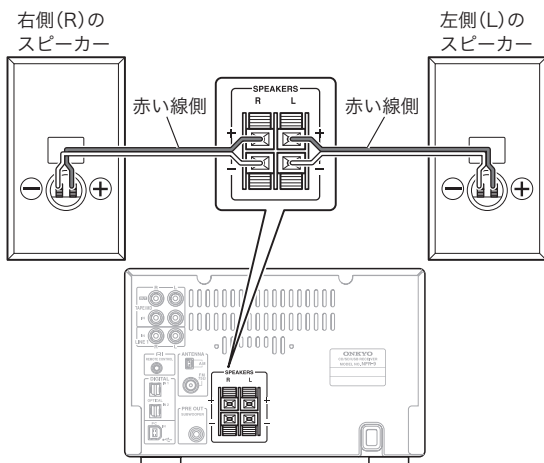
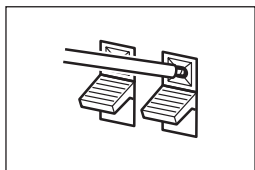
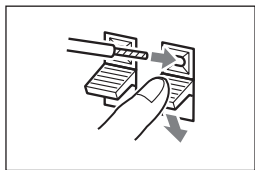
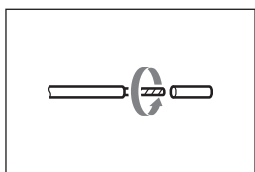
21. ▲/▼ボタン
フォルダを選びます。メニュー操作中は項目や値を選びます。

22. フォルダボタン
フォルダを選ぶときに押します。

23. 🔁ボタン (➔P.25、30、39)
リピート再生を設定します。

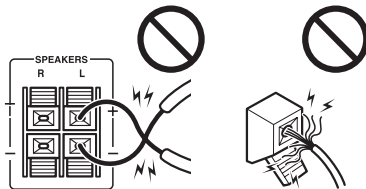
スピーカーを接続する

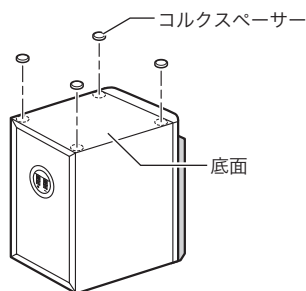
付属スピーカーを接続する

- X-NFR7に付属している2台のスピーカー(D-NFR7)は、2台とも同じ形状のもので、左右の区別はありません。向かって右側に設置するスピーカーは、本体のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。
- スピーカーコードの赤い線側を必ず本体およびスピーカーの赤いスピーカー端子プラス⊕側と接続してください。本体とスピーカーのプラス⊕とマイナス⊖を逆に接続すると、低音が出にくくなるなど、音が悪くなります。

スピーカーコードの接続

1. スピーカーコードの被覆をはずし、芯線をしっかりよじります。

2. スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。指を離すとレバーが戻ります。芯線がわずかに外に出ているようにしてください。

3. スピーカーコードを軽く引っ張り、確実に接続されているかどうか確認してください。

危険
- 回路の故障を防ぐため、スピーカーコードの芯線のプラス⊕とマイナス⊖を絶対に接触させないでください。また、リアパネルにも触れないように、ご注意ください。
- スピーカーコードは、しっかりとよじってください。銅線がリアパネルに触れると、故障の原因となります。

スピーカーの設置について

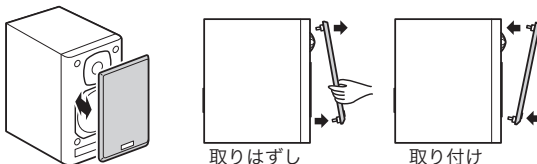
- スピーカーや本体は、自身の再生音による振動の影響を受けすぎると、低音や高音が微妙に聞き取りにくくなることがあります。振動抑制のために付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。また、よりよい音でお楽しみいただくためには、なるべくしっかりした家具(リビングボードなど)や台の上に設置して、振動による音の悪影響を抑えることもおすすめします。

- リスニングポジションが左右のスピーカーを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少し後ろになるように設置するのが理想的です。スピーカーの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。
- スピーカーのキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度が極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや冷暖房器具の近く、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。

スピーカーやアンテナの接続・設置

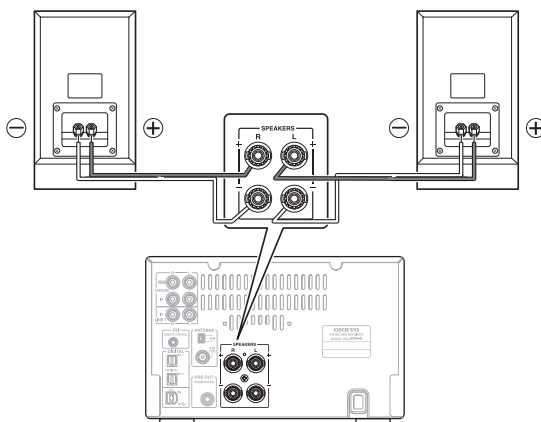
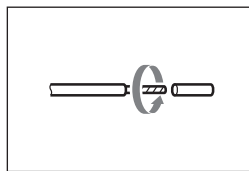
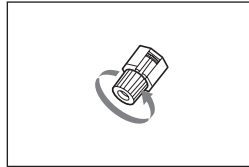
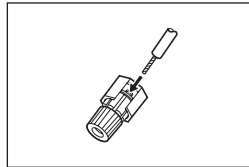
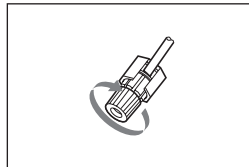
グリルネットについて

D-NFR7のグリルネットは取りはずし可能ですが、音質に影響を与えない材質や構造でつくられていますので取付けたままの設置でも問題ありません。もし、取りはずす場合はグリルネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、グリルネットの下側をはずします。そのうえで、同じようにグリルネットの上側を手前に引っ張って本体からはずしてください。取り付けるときは、グリルネットの四隅にあるピンを本体のグリルネット取り付けホルダーに合わせて押し込みます。

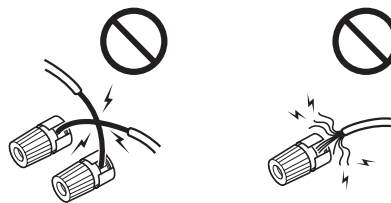
取りはずし

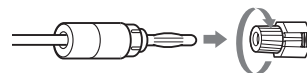
取り付け

NFR-9をお使いの場合

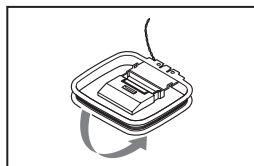
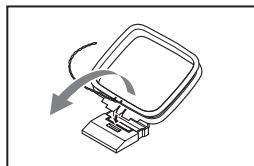
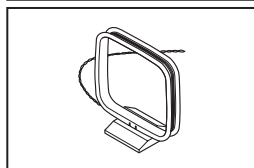
NFR-9にスピーカーは付属していません。

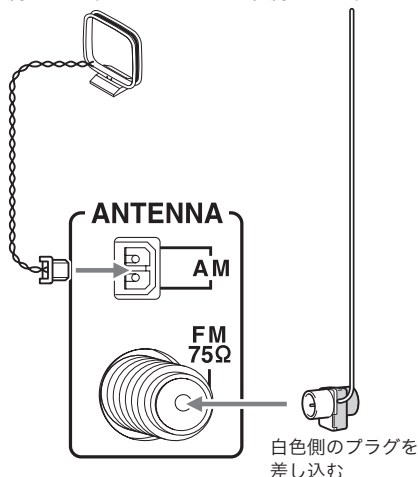
- スピーカーはインピーダンスが4Ω～16Ωのものを接続してください。4Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
- １つのスピーカー端子に2台以上のスピーカーを接続したり、1台のスピーカーを2つ以上のスピーカー端子に接続しないでください。故障の原因となります。
- 本機のスピーカー端子のプラス⊕とスピーカーのプラス⊕端子、本機のスピーカー端子のマイナス⊖とスピーカーのマイナス⊖端子をスピーカーコードで接続してください。

スピーカーコードの接続

1. スピーカーコードの被覆をはずし、芯線をしっかりよじります。

2. スピーカー端子のつまみをゆるめます。

3. スピーカーコードの芯線を差し込みます。このとき、被覆まで差し込まないように注意してください。

4. つまみを締め付けます。

危険

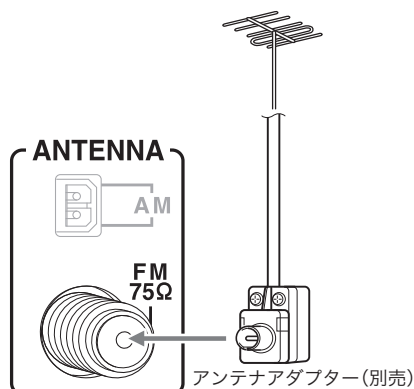
- 回路の故障を防ぐため、スピーカーコードの芯線のプラス⊕とマイナス⊖を絶対に接触させないでください。また、リアパネルにも触れないように、ご注意ください。
- スピーカーコードは、しっかりとよじってください。銅線がリアパネルに触れると、故障の原因となります。

バナナプラグのスピーカーコードを接続する場合

- スピーカー端子のつまみをしっかり締めてから、バナナプラグを挿入してください。
- スピーカーコードの芯線を、スピーカー端子のバナナプラグ用の穴に直接挿入して接続することはできません。必ずバナナプラグを取り付けて挿入してください。

ラジオのアンテナを接続する

付属のAMアンテナを準備する

1. アンテナの外枠をぐるっと回転させます。

2. 溝に差し込みます。

3. アンテナのコードを引き出します。巻き線部までほどかないようにしてください。

付属のFM/AMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います(➔**P.17**)。

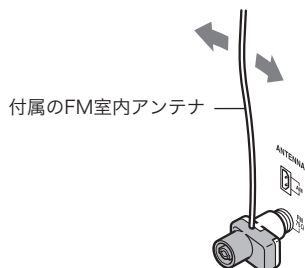
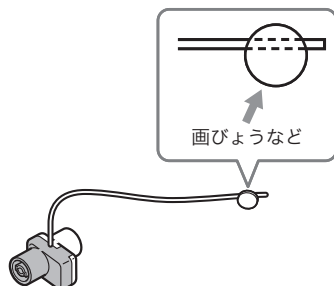
- アンテナはできるだけ窓際に設置する方が受信状態が良くなります。
- 付属のFMアンテナは室内用の簡易アンテナです。鉄筋の建物の中や送信所から遠い場合など、電波が弱くて安定した受信ができないことがあります。その場合は、市販のFM屋外アンテナの接続をおすすめします。
- 付属のFMアンテナは、ピンと張って受信状態が良い方向に画びょうなどで固定してください。
- 付属のAMアンテナは、受信状態が良くなるよう向きや位置を調整してください。
- ケーブルテレビのFM再送信を利用できる場合があります。詳しくはケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

市販のFM屋外アンテナを接続する

市販のFM屋外アンテナとの接続には、市販のアンテナアダプターを使用して上図のように接続します。
アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

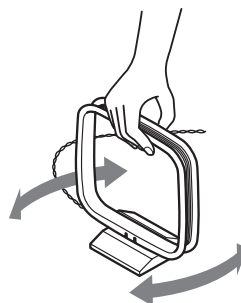
スピーカーやアンテナの接続・設置

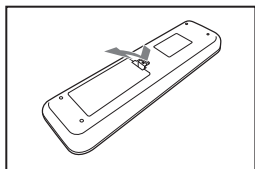
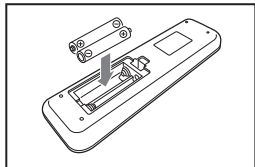
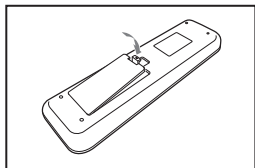
アンテナの調整

付属のFM室内アンテナの調整と固定

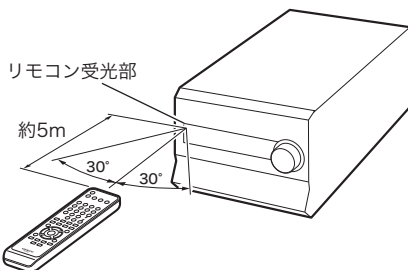
1. FM放送を聞きながらFMアンテナを調整する。
高さ、方向を変えて受信状態が良好になる設置場所を見つけます。

2. 画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。
アンテナの先がはずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

ご注意:画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

FM放送が受信しにくいときは:集合住宅など鉄筋構造の住居では受信状態がかなり悪くなります。雑音が多い、また音が切れる場合は、モノラル受信に切り換えてお試しください(**➔P.49**)。

AM放送を聞きながら付属のAMアンテナを調整する。
受信状態が良好になるようアンテナの位置を変えたり向きを調整します。マンションなど鉄筋の建物の場合、窓際などできるだけ電波が届きやすいところにアンテナを設置してください。
また、雑音の発生源となる電気製品やACアダプターなどから離して置いてください。

リモコンを準備する/電源を入れる

乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向に持ち上げます。

2. 中の極性表示にしたがって付属の単4形乾電池2個をプラス⊕とマイナス⊖を間違えないように入れます。

3. カバーを戻します。

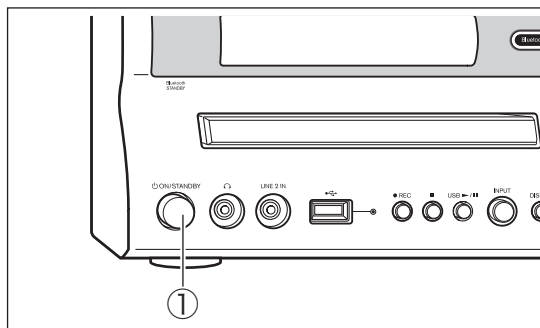
リモコンの使いかた

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコン使用時のご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておくと腐食により故障の原因になることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単4形をご使用ください。
- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンが正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。また、オーディオラックのドアのガラスに色が付いていると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。

電源コードを接続する

すべての接続が完了していることを確認してください。電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態となります。

電源を入れる

本体の⏻ON/STANDBYボタン①を押す

- **リモコンでは：**電源 ⏻ボタンを押します。

表示部とVOLUMEインジケーターが点灯して電源が入ります。スタンバイ状態（電源オフの状態）に戻すには、同じボタンをもう一度押します。

- 本機にはオートスタンバイ機能が実装されています。無操作かつ無音の状態が20分間続くと、自動的に電源がスタンバイ状態になります。この機能を使用するには、下記の「オートスタンバイ機能をOnにするには」をご覧ください。
- Bluetooth接続で自動的に電源を入れる場合は、「Bluetoothスタンバイを使う」(**➔P.46**)をご覧ください。

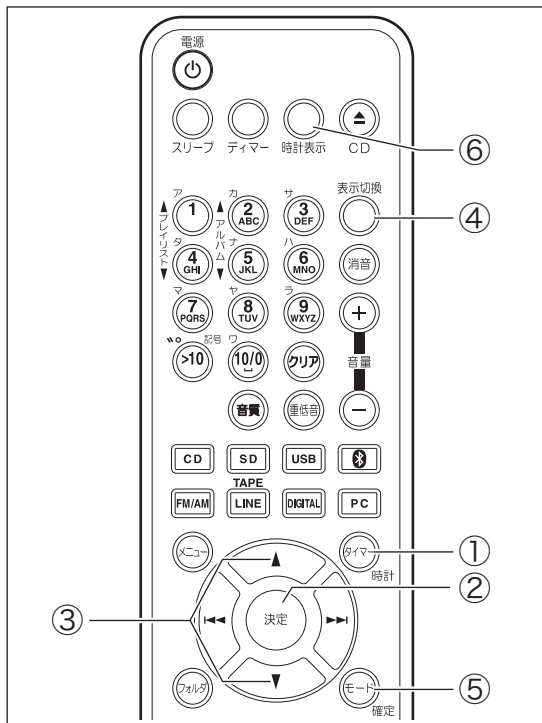
オートスタンバイ機能をOnにするには

本体のMENUボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、表示部に「Auto Standby >」を表示させた状態で、MULTI JOGダイヤルを押すと「Off」が表示されます。再度MULTI JOGダイヤルを回して「On」を表示させた状態で、MULTI JOGダイヤルを押すと、オートスタンバイ機能がOnになります。

- FMモードがモノラルのときやAM放送の受信時は、オートスタンバイ機能は働きません。

時計を設定する

現在時刻を設定すると、タイマー機能(➔**P.52**)を使用できます。お好みにより、12時間(AM/PM)表示と24時間表示が選べます。(本書では24時間表示で説明しています。)

- SDカードやUSBメモリーへ録音するとき(➔**P.33**、**42**)、設定された時計をもとにタイムスタンプを付けますので、時刻、年月日を正しく設定してください。
- 時計設定中、しばらく何も操作しないと元の表示に戻ります。

リモコンでの設定

1. タイマー/時計ボタン①を押して、表示部に「Clock」を表示させる

すでに時計が働いているときは、タイマー/時計ボタン①を押すと、「Timer1 Off」と表示されるので、タイマー/時計ボタンをくり返し押して「Clock」を表示させます。

2. 決定ボタン②を押す

時刻入力に入ります。

3. ▲/▼ボタン③を押して「時」を合わせたら、決定ボタン②を押す

- 時間の設定時、表示切換ボタン④を押すと、12時間(AM/PM)表示と24時間表示を切り換えることができます。

19:00

4. ▲/▼ボタン③を押して「分」を合わせたら、時報に合わせて決定ボタン②を押す

19:03

5. ▲/▼ボタン③を押して年月日を合わせる

西暦、月、日の順に入力してください。決定するには、決定ボタン②を押してください。入力が終わったら、元の表示に戻ります。

- 曜日は自動的に設定されます。

● **時計合わせを途中で終了するときは:**モード/確定ボタン⑤を押します。

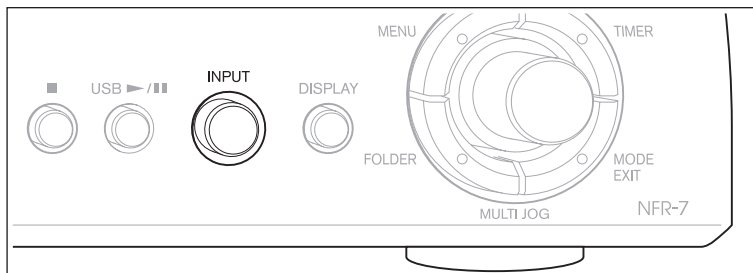
電源がONの状態であれば、本体のTIMERボタン、MULTI JOGダイヤル、DISPLAYボタンでも操作することができます。

曜日と時計または年月日を表示させる

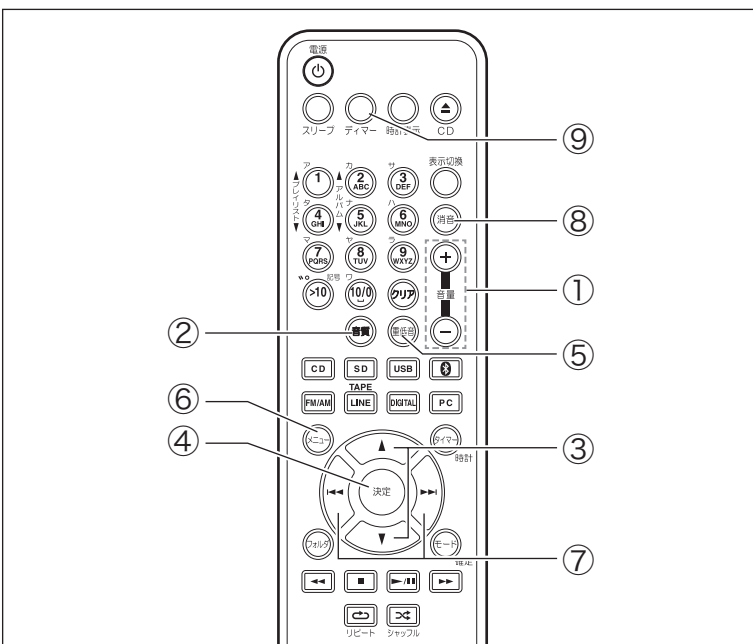
時計表示ボタン⑥を押します。再度、時計表示ボタンを押すと時計表示は消えます。
また時計表示中に、表示切換ボタン④または本体のDISPLAYボタンを押すと、「曜日+時計」と「年月日」の表示を切り換えることができます。

スタンバイ中の時計表示あり/なしを切り換えるには

スタンバイ中に、時計表示ボタン⑥を押します。
ただし、時計表示を「あり」にすると「なし」のときより待機電力が増えます。

入力切換について

本機はCD/SD/USBプレーヤーとラジオを内蔵しているほかに、PCとの接続に便利なPC IN端子やテレビなどとのデジタル接続が可能なDIGITAL IN端子など豊富な外部入出力端子を装備しています。各ソースの再生音を聞くには、本体のINPUTボタン（またはリモコンの入力切換ボタン）を押して入力を選びます。このうち、CD/SDカード/USBメモリーの再生時は再生ボタンを押すだけで自動的に入力が切り換わります(ダイレクトチェンジ機能)が、外部機器の再生は手動で入力を切り換える必要があります。（例：DIGITAL IN 1端子に接続したテレビの音を聞くには、INPUTボタンを（くり返し）押して表示部に「DIGITAL1」を表示させます。）
INPUTボタンは押すごとに、入力が以下のように切り換わります。

CD→SD→USB→Bluetooth→FM→AM→LINE1→LINE2→TAPE→DIGITAL1→DIGITAL2→PC→CD（以降くり返し）

音量や音質などの調整

音量を調整する

音量 ＋/－ボタン①を押す

- **本体では**：VOLUMEつまみを回します。

音量は、0〜41、Maxの範囲で調整できます。

その他の
機能について

低音/高音を調整する

1. 音質ボタン②を押して「Bass」を表示させる

2. ▲/▼ボタン③を押して低音を調整する

お買い上げ時の設定は「0」ですが、−5から+5の間で1ステップずつ調整できます。

- S.Bass 2のときは、過度な低音増強でスピーカーに負担をかけないようBassは「+3」までしか上げられません。
- しばらく何も操作しないと元の表示に戻ります。

3. 決定ボタン④を押して「Treble」を表示させる

4. ▲/▼ボタン③を押して高音を調整する

お買い上げ時の設定は「0」ですが、−5から+5の間で1ステップずつ調整できます。

- しばらく何も操作しないと元の表示に戻ります。

5. 決定ボタン④を押す

元の表示に戻ります。

● **高音のみを調整するときは:**音質ボタン②を2回押した後、手順4から操作してください。

重低音を強調する

重低音ボタン⑤を押す

ボタンを押すたびに、S.Bass 1(重低音が強調)→S.Bass 2(さらに強調)→S.Bass Offの順で切り換わります。

- S.BASS機能が働いているときは、S.BASSインジケーターが点灯します。
- Bassが「+4」または「+5」のときは、S.Bass 2には設定できません。

バランスを調整する

1. メニューボタン⑥を押す

表示部にメニュー画面が表示されます。

2. ▲/▼ボタン③を押して「Balance >」を選ぶ

3. 決定ボタン④を押す

4. ⏮/⏭ボタン⑦を押して左右の音量バランスを調整する

左へ5段階、中央、右へ5段階の調整ができます。

5. 決定ボタン④を押す

元の表示に戻ります。

音を一時的に消す

消音ボタン⑧を押す

MUTING表示とVOLUMEインジケーターが点滅し、音が消えます。もう一度押すと、解除されます。

- 音量を調整したときや、一度電源を切ってから再度電源を入れたときも解除されます。

その他の機能について

表示の明るさを切り替える

ディマーボタン⑨を押す

ボタンを押すたびに、表示部の明るさとVOLUMEインジケーターの点灯/消灯が次のように変わります。

表示部：明るい、VOLUMEインジケーター：点灯
表示部：少し暗い、VOLUMEインジケーター：消灯
表示部：暗い、VOLUMEインジケーター：消灯

MP3/WMAディスク、SDカード、USBメモリーに録音されたトラック番号付きファイルの番号表示を切り替える

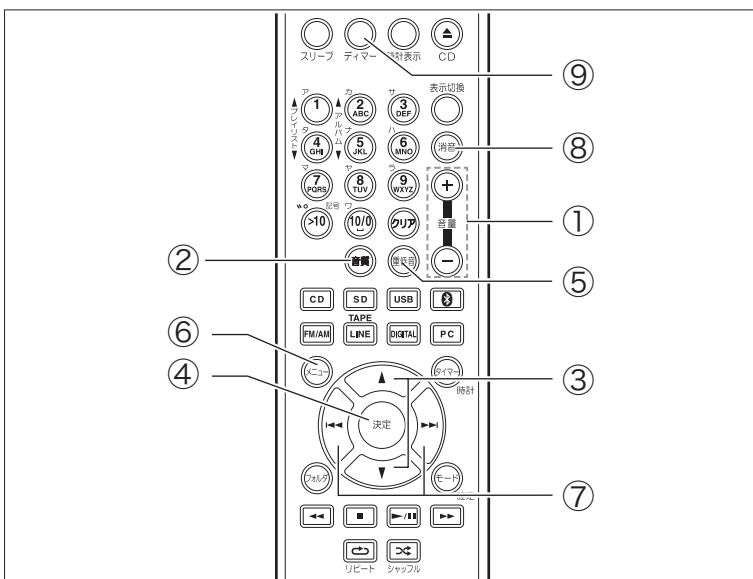
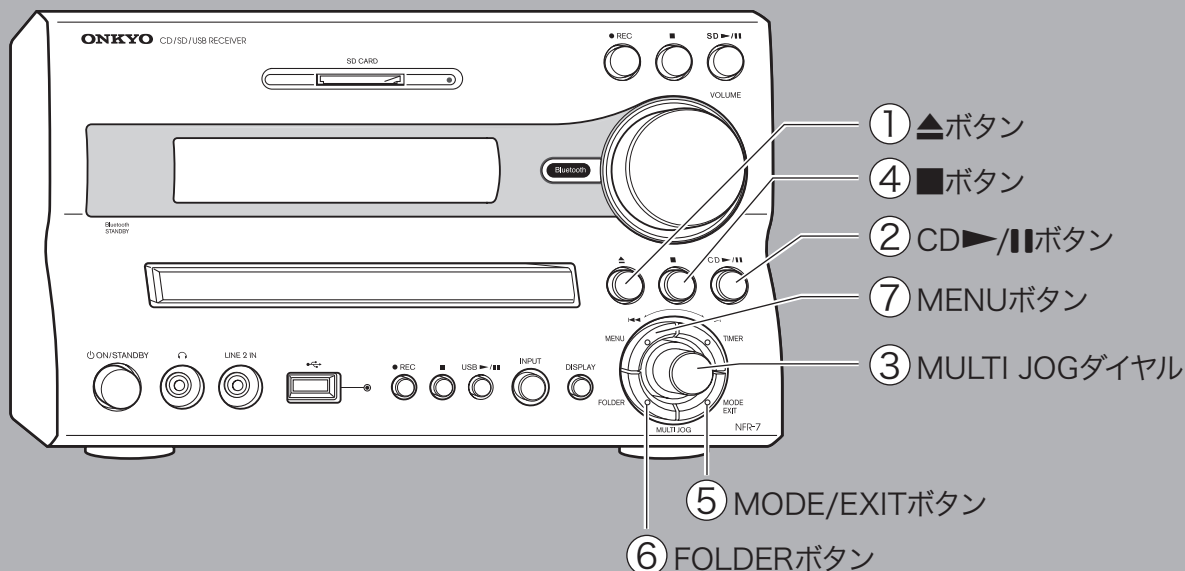
ファイル名の先頭にトラック番号がついている場合、本機で表示するときに、その番号の表示/非表示を切り換えることができます。

■ **停止ボタンを押して停止状態にします。レジューム状態では手順2の「Prefix Number >」が表示されませんので、停止ボタンを２回押してください。**

1. **メニューボタン⑥を押す**
   表示部にメニュー画面が表示されます。
2. **▲/▼ボタン③を押して「Prefix Number >」を選ぶ**
3. **決定ボタン④を押す**
4. **▲/▼ボタン③を押して「Display」（表示する）と「Not Display」（表示しない）を切り換える**
5. **決定ボタン④を押す**
   ファイル名が設定された内容に応じて表示されます。

ヘッドホンで聞くときのご注意

ヘッドホンはステレオミニプラグを使って🎧端子に接続します。🎧端子に誤って他の機器の音声出力信号を接続すると故障の原因となります。となりのLINE 2 IN端子に接続するケーブルを、誤って🎧端子へ差し込まないよう、ご注意ください。

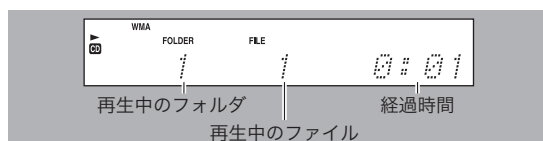
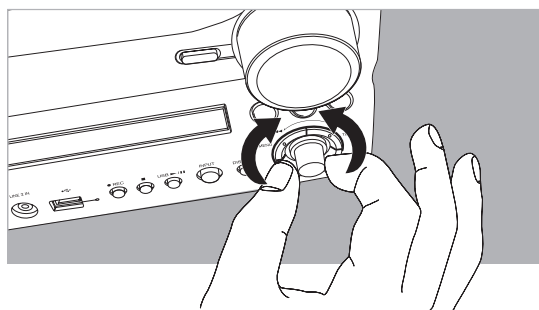
- ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

CD（音楽CD、MP3、WMA）を再生する

再生可能なCDについて

市販されている音楽CD以外にも、パソコンなどで作成された圧縮音源の「MP3」「WMA」フォーマットのCDに対応しています。CD-R、CD-RWについての詳細は、66〜67ページをご覧ください。

■ 電源がONの状態で

1. **⏏ボタン①を押して、トレイを開きディスクのラベル面を上にしてトレイに置く**
   - スタンバイ状態のときに⏏ボタン①を押しても、自動的に電源が入り、トレイが開きます。
   - 8cmディスクのときは、そのまま内側のくぼみの中に置きます。アダプター（12cm変換）は故障の原因になりますので使用しないでください。
2. **CD►/❚❚ボタン②を押すとトレイが閉じて、表示部に「CD Reading」と表示された後、再生が始まります。**
   - CDを再生しないでトレイを閉じる場合は、⏏ボタン①を押してください。

音楽CDの場合の画面表示

MP3/WMAディスクの場合の画面表示

● **聞きたい曲を選ぶには**：MULTI JOGダイヤル③を左右に回して、選曲します。

音楽ファイルがフォルダで整理されている場合は、停止中にFOLDERボタン⑥を押した後、MULTI JOGダイヤル③を回してフォルダを選び、MULTI JOGダイヤルを押します。

- 停止中はMULTI JOGダイヤル③を押すと、再生が始まります。また、再生中にMULTI JOGダイヤルを押すと、音楽CDの場合は次の曲へ進みます。MP3、WMAディスクの場合は、次のフォルダの1曲目へ進みます。

● **再生の停止は**：再生中に■ボタン④を押します。1回押すと、停止したところから再生が始まるレジューム機能が設定された状態で停止します。2回押すと、レジューム機能が解除され、ディスクの最初から再生されます。

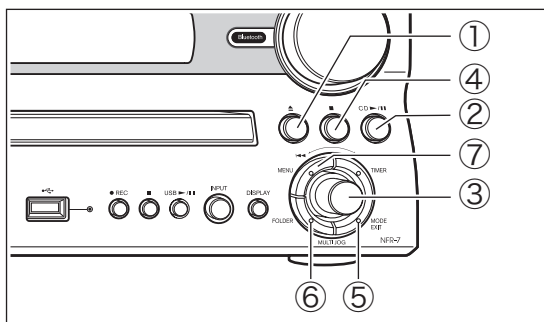
● **一時停止は**：再生中にCD►/❚❚ボタン②を押すと表示部に「❚❚」が点灯し一時停止します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

● **ディスクを取り出すには**：⏏ボタン①を押します。

いろいろな再生方法

1フォルダ再生

現在のフォルダ内の曲だけを再生します。

■ 入力がCDで、停止中に

1. MODE/EXITボタン⑤を(くり返し)押して「▭」を表示させる
- **リモコンでは**:モード/確定ボタンを(くり返し)押します。

2. CD►/IIボタン②を押す
1フォルダ再生が始まります。
- **リモコンでは**:►/IIボタンを押します。

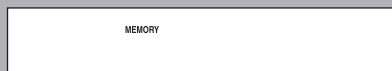
● **フォルダを選んでから再生するには**:FOLDERボタン⑥を押しフォルダ名を表示させます。MULTI JOGダイヤル③を回してフォルダを選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。
- **リモコンでは**:フォルダボタンを押してから、▲/▼ボタンでフォルダを選び、決定ボタンを押します。

● **1フォルダ再生を解除するには**:停止中(レジューム中)にMODE/EXITボタン⑤またはリモコンのモード/確定ボタンを(くり返し)押して、「▭」が点灯していない状態にします。

メモリー再生

曲を指定し登録すると(25曲まで)、その順序で再生します。メモリー登録すると、リピート再生のときは、登録された曲だけで再生します。
- メモリー再生中に、ランダム再生を設定することはできません。

■ 入力がCDで、停止中に

1. MODE/EXITボタン⑤を(くり返し)押して「MEMORY」を表示させる
- **リモコンでは**:モード/確定ボタンを(くり返し)押します。

2. MULTI JOGダイヤル③を回して曲を選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定する
次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。なお、26曲以上は予約できません(「Memory Full」と表示されます)。
- **リモコンでは**:数字ボタンを使用します(→P.26)。
  - MP3/WMAディスクの場合は:▲/▼ボタンでフォルダを選んだ後、◀◀/▶▶Iボタンで曲を選び、決定ボタンを押します。

3. CD►/IIボタン②を押す
メモリー再生が始まります。再生が終っても予約内容は消えません。
- **リモコンでは**:►/IIボタンを押します。

● **予約した曲の中で選曲するには**:再生中にMULTI JOGダイヤル③を回すか、リモコンのI◀◀/▶▶Iボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

● **予約した内容を確認するには**:停止中にリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押すと、予約内容を確認できます。

● **予約した曲を取り消すには**:メモリー再生モードの停止中に、MENUボタン⑦またはリモコンのクリアボタンあるいはメニューボタンを押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。一度メモリー再生モードを解除すると、記憶した内容は消えます。

● **メモリー再生を解除するには**:MODE/EXITボタン⑤またはリモコンのモード/確定ボタンを(くり返し)押して、「MEMORY」が点灯していない状態にします。
ディスクを取り出したり、入力を切り換えても、メモリー再生が解除されます。また、電源をスタンバイ状態にしてもメモリー再生が解除されます。

CDの再生

ランダム再生（リモコンでの操作のみ）

曲順をランダムに並べかえて、全曲をひと通り再生します。

- 1フォルダ再生中にこの再生モードにすると、フォルダ内の曲だけで再生されます。

1. 🔀ボタン①を押して、「🔀」を表示させる

2. ►/IIボタン②を押す
ランダム再生が始まります。

● **ランダム再生を解除するには**：🔀ボタン①を押して、「🔀」が点灯していない状態にします。

リピート再生（リモコンでの操作のみ）

1つのファイルをくり返し再生する「1曲リピート」、すべてのファイルをくり返し再生する「全曲リピート」を行うことができます。

- 1フォルダ再生中またはメモリー再生中にこの再生モードにすると、フォルダ内やメモリー登録された曲の中だけで再生されます。
- ランダム再生中にこの再生モードにすると、ランダム再生設定のまま、リピート再生を行うことができます。

1曲リピート、全曲リピート

1. 🔁ボタン③を（くり返し）押して「🔁」（全曲リピート）または「🔁1」（1曲リピート）を表示させます。

- 表示は「🔁」（全曲リピート）の場合です。

2. ►/IIボタン②を押す
リピート再生が始まります。

● **リピート再生を解除するには**：🔁ボタン③を（くり返し）押して、「🔁」が点灯していない状態にします。

表示切換について

表示部の情報を切り換える

本体のDISPLAYボタン、またはリモコンの表示切換ボタンを（くり返し）押すと、表示される情報の切り換えができます。表示された情報は、しばらくすると元の表示に戻ります。（ボタンを押しても表示は切り換わりません。）

● **音楽CDの停止中は**：総曲数、総再生時間が表示されます。（ボタンを押しても表示は切り換わりません。）

● **音楽CDの再生中、一時停止中は**：再生曲経過時間、再生曲残り時間（REMAIN）、総残り時間（TOTAL REMAIN）が順に表示されます。

● **MP3/WMAディスクの停止中は**：総フォルダ数、総ファイル数、ディスク名が表示されます。

● **MP3/WMAディスクの再生中は**：再生曲経過時間、ファイル名、フォルダ名、サンプリング周波数/ビットレート、あるいは再生曲経過時間、タイトル、アーティスト名、アルバム名が順に表示されます。

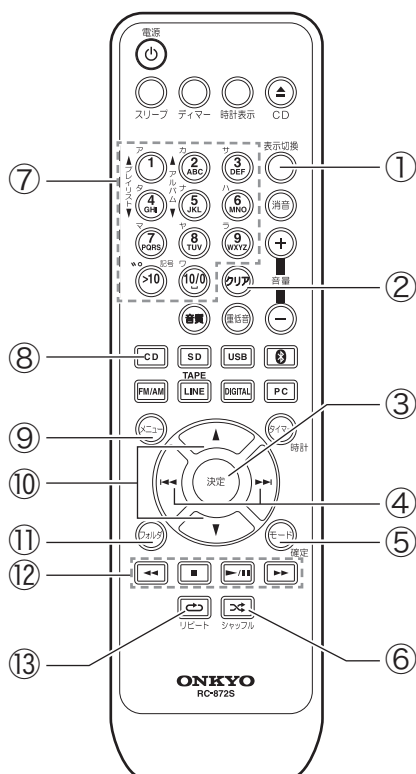
MP3/WMAファイル再生時の表示方法を設定する

MP3やWMAファイルを再生するときの表示方法を設定することができます。停止中に本体のMENUボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Display Info >」を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。さらにMULTI JOGダイヤルを回して次の3つのパターンから選んでMULTI JOGダイヤルを押して決定します。表示を切り換えるには、再生中にDISPLAYボタンかリモコンの表示切換ボタンを押します。

- **「File Name」を選ぶと**：曲が変わるとファイル名がスクロール表示されます。再生中の表示切換は、ファイル名→フォルダ名→サンプリング周波数/ビットレートの順になります。
- **「Title」を選ぶと**：曲が変わるとタイトルがスクロール表示されます。再生中の表示切換は、タイトル→アーティスト名→アルバム名の順になります。
- **「Not Display」を選ぶと**：常にフォルダ番号、ファイル番号、経過時間が表示されます。表示情報の切り換えはできません。

● **再生中の表示情報のスクロール方法を選ぶには**：本体のMENUボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Info Scroll >」を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。さらにMULTI JOGダイヤルを回して「Once」または「Repeat」を選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。
「Once」を選ぶと、情報が一度だけスクロール表示され、「Repeat」を選ぶと、情報がくり返しスクロール表示されます。

CDの再生

リモコンで操作する

① **表示切換ボタン**:表示部の情報を切り換えます。

② **クリアボタン**:メモリー再生モードの停止中に予約した曲を取り消します。(**➔P.24**)

③ **決定ボタン**:選択した内容を決定します。

④ **⏮/⏭ボタン**:聞きたい曲を選びます。
- ⏮ボタン:再生中、一時停止中にボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと前の曲に戻ります。以降、押すたびに１つ前の曲に戻ります。停止中はボタンを押すたびに1曲ずつ前の曲に戻ります。
- ⏭ボタン:押すたびに１つ次の曲に進みます。

⑤ **モード/確定ボタン**:1フォルダ再生やメモリー再生を設定します。(**➔P.24**)

⑥ **🔀ボタン**:ランダム再生を設定します。(**➔P.25**)

⑦ **数字ボタン**:選曲して再生するときに使用します。
- 1〜9ボタン:押した番号の曲を選曲します。
- 10/0ボタン:10曲目を選曲します。または0を入力します。
- ＞10ボタン:11曲目以降を選曲するときに使用します。

使用例:＞10、3、1の順に押すと31曲目を選曲します。
　　　　＞10、＞10、1、10/0、9で109曲目を選曲します。

⑧ **CDボタン**:入力切換を「CD」にします。

⑨ **メニューボタン**:メニュー操作を開始します。メニュー操作中はメニューを終了します。

⑩ **▲/▼ボタン**:押すたびに、前/次のフォルダへ移動します。フォルダボタンを押したあとに、このボタンを押すと、フォルダ名を確認しながらフォルダを選択できます。メニュー操作中は、メニュー項目や設定値を選びます。

⑪ **フォルダボタン**:フォルダ名が表示され、フォルダが選択可能になります。(**➔P.24**)

⑫ **操作ボタン**:CDの操作に使用します。
- ◀◀/▶▶ボタン:再生中、一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。押したまま、前の曲に戻ったり、次の曲に進んだりすることはできません。
  - ▶▶ボタン:再生中、一時停止中に押し続けると、曲の最後から少し手前で止まります。指を離すと残りを再生した後、次の曲に進みます。
  - ◀◀ボタン:再生中、一時停止中に押し続けると、曲の最初から少し進んだところで止まります。指を離すとその位置から再生が始まります。

  メモリー再生モードの停止中に予約内容を確認します。(**➔P.24**)
- ■ボタン:再生中に1回押すと、その位置で停止します(レジューム)。もう1回押すとレジュームが解除されます。
- ►/❚❚ボタン:停止中に押すと、再生を始めます。再生中に押すと、一時停止します。

⑬ **🔁ボタン**:リピート再生を設定します。(**➔P.25**)

SDカードの再生・録音

前面パネルのSDカードスロットに録音済みのSDカードを挿入すれば、ミュージックサーバーのように長時間プレイで音楽を楽しめます。SDカードへの録音はCD録音のほかにラジオ放送や外部機器（アナログ音声入力のみ）からも可能です。録音した音楽ファイルをSDカード経由でパソコンに移すことも、パソコン内の音楽ファイルをSDカードに移して本機で再生することもできます。

使用できるSDカードについて

SDカードのファイルシステムはFAT16とFAT32に対応しています。exFATなど対応していないファイルシステムのSDカードは、ご使用前にパソコンで対応するファイルシステムに初期化（フォーマット）してください。

SDカードのフォーマットについて
SDカードをフォーマットするときは、SDフォーマッターをご使用ください。
SDフォーマッターは以下のサイトからダウンロードできます。
https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/

- 2GBまでのSDカード、32GBまでのSDHCカードに対応しています。
- セキュリティをかけたSDカードは使用できません。暗号化ソフトなどは使用しないでください。
- フォルダ数：999、1フォルダ内のファイル数：999、総ファイル数：9999まで対応しています。
- 万が一、本機やSDカードの不具合により、正常に録音、再生ができない場合、そのコンテンツについての補償はできかねます。また、本機の不具合によるものも含め、消去したコンテンツの修復はできません。あらかじめご了承ください。事前に、録音するフォーマット（「WAV」など）で、正常に録音できるか確認されることをお勧めします。正常に動作しない場合は、SDカードを取り替えてみてください。

SDカードの再生について

再生可能なファイルフォーマット

本機で再生可能なファイルは以下のとおりです。

MP3
拡張子：MP3、mp3
ビットレート：32kbps〜320kbps、VBR
サンプリングレート：32kHz、44.1kHz、48kHz

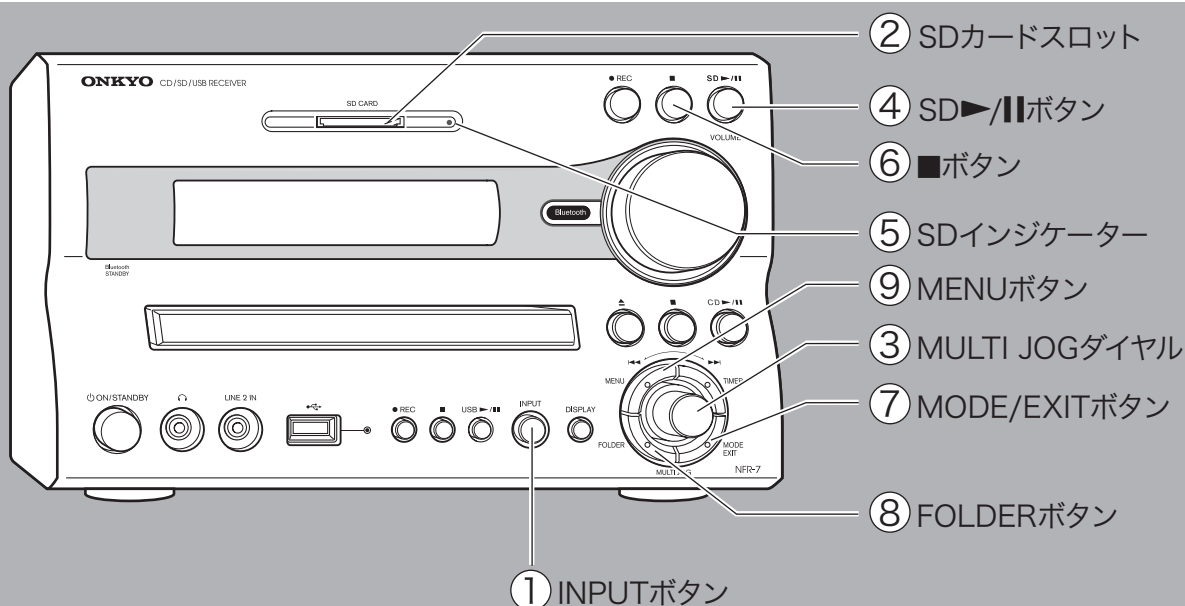
WMA
拡張子：WMA、wma
ビットレート：32kbps〜320kbps、VBR
サンプリングレート：32kHz、44.1kHz、48kHz
- WMA Lossless、WMA Pro、WMA Voiceには対応しません。

WAV
拡張子：WAV、wav
ビット数：16bit、24bit
サンプリングレート：32kHz、44.1kHz、48kHz

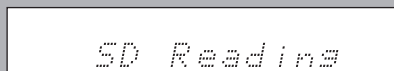
- すべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- DRM（デジタル著作権管理）によって著作権保護されているファイルは再生できません。
- VBR（可変ビットレート）ファイルの再生時間は正確に表示されないことがあります。また、正常に早戻し/早送りできないことがあります。

再生する順序

本機で録音した場合、ファイルの再生順序は録音順になります。ただし、ファイルを削除したあとに録音すると、録音されたファイルがその位置に入り、再生順が変わることがあります。また、パソコンでファイルを削除、コピーあるいは名前を変更したあとに再生すると、録音した順番通りに再生できないことがあります。

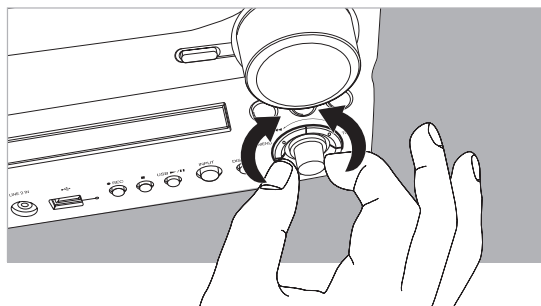
SDカードを再生する

microSDカードを使用するときは、先にmicroSDカードをアダプターに挿入した後、本機のスロットに挿入してください。

■ 電源がONの状態で

1. INPUTボタン①を(くり返し)押して、表示部に「SD Reading」を表示させる

2. SDカードスロット②に、SDカードを挿入する

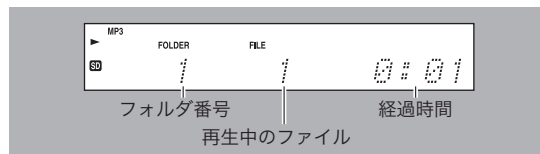
ラベル面を上に、カットされた角が右になるよう挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- SDカードに多くのデータが入っているときは、読み込みに時間がかかる場合があります。
- しばらくすると表示部にフォルダ数などが表示されます。

3. MULTI JOGダイヤル③を回して再生するファイルを選ぶ

音楽ファイルがフォルダで整理されている場合は、停止中にFOLDERボタン⑧を押した後、MULTI JOGダイヤル③を回してフォルダを選び、MULTI JOGダイヤルを押します。

- 停止中はMULTI JOGダイヤル③を押すと、再生が始まります。また、再生中にMULTI JOGダイヤルを押すと、次のフォルダの1曲目へ進みます。
- 再生できないファイルを選ぶと「Not Support」と表示され、次の再生可能なファイルを再生します。

4. SD►/❚❚ボタン④を押す

再生が始まり、SDインジケーター⑤が緑色に点灯します。

● **再生の停止は**:再生中に■ボタン⑥を押します。1回押すと、停止したところから再生が始まるレジューム機能が設定された状態で停止します。2回押すと、レジューム機能が解除され、SDカードの最初から再生されます。

● **一時停止は**:再生中に、SD►/❚❚ボタン④を押せば、SDインジケーター⑤が緑色に点滅し一時停止します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

● **SDカードの取り出しは**:■ボタン⑥を押すと、SDインジケーター⑤が消灯します。その後、SDカードを押し込んで指を離すとSDカードが出てきますので、つまんで抜いてください。

- SDインジケーター⑤の点灯/点滅中にSDカードを取り出すと故障の原因となります。故障したSDカードや損傷したファイルなどの補償はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

● **制限事項**:日本語のファイル名/フォルダ名/タイトル/アーティスト名/アルバム名で、漢字など表示できない文字は「・」に置き換えられ、ひらがなはカタカナに変換されて表示されます。

いろいろな再生方法

1フォルダ再生

現在のフォルダ内の曲だけを再生します。

■ 入力がSDで、停止中に

1. MODE/EXITボタン⑦を(くり返し)押して「□」を表示させる
- **リモコンでは**:モード/確定ボタンを(くり返し)押します。

2. SD►/❙❙ボタン④を押す
1フォルダ再生が始まります。
- **リモコンでは**:►/❙❙ボタンを押します。

● **フォルダを選んでから再生するには**:FOLDERボタン⑧を押しフォルダ名を表示させます。MULTI JOGダイヤル③を回してフォルダを選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。
- **リモコンでは**:フォルダボタンを押してから、▲/▼ボタンでフォルダを選び、決定ボタンを押します。

● **1フォルダ再生を解除するには**:停止中(レジューム中)にMODE/EXITボタン⑦またはリモコンのモード/確定ボタンを(くり返し)押して、「□」が点灯していない状態にします。

メモリー再生

曲を指定し登録すると(25曲まで)、その順序で再生します。メモリー登録すると、リピート再生のときは、登録された曲だけで再生します。
- メモリー再生中に、ランダム再生を設定することはできません。

■ 入力がSDで、停止中に

1. MODE/EXITボタン⑦を(くり返し)押して「MEMORY」を表示させる
- **リモコンでは**:モード/確定ボタンを(くり返し)押します。

2. MULTI JOGダイヤル③を回して曲を選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定する
次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。なお、26曲以上は予約できません(「Memory Full」と表示されます)。
- **リモコンでは**:▲/▼ボタンでフォルダを選んだ後、⏮/⏭ボタンで曲を選び、決定ボタンを押します。

3. SD►/❙❙ボタン④を押す
メモリー再生が始まります。再生が終わっても予約内容は消えません。
- **リモコンでは**:►/❙❙ボタンを押します。

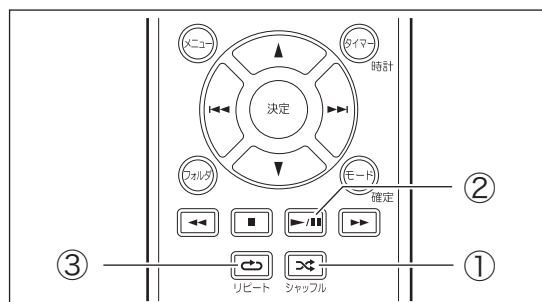
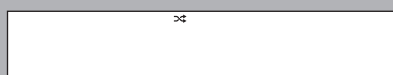
● **予約した曲の中で選曲するには**:再生中にMULTI JOGダイヤル③を回すか、リモコンの⏮/⏭ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

● **予約した内容を確認するには**:停止中にリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押すと、予約内容を確認できます。

● **予約した曲を取り消すには**:メモリー再生モードの停止中に、MENUボタン⑨またはリモコンのクリアボタンあるいはメニューボタンを押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。一度メモリー再生モードを解除すると、記憶した内容は消えます。

● **メモリー再生を解除するには**:MODE/EXITボタン⑦またはリモコンのモード/確定ボタンを(くり返し)押して、「MEMORY」が点灯していない状態にします。
SDカードを取り出したり、入力を切り換えても、メモリー再生が解除されます。また、電源をスタンバイ状態にしてもメモリー再生が解除されます。

ランダム再生(リモコンでの操作のみ)

曲順をランダムに並べかえて、全曲をひと通り再生します。
- 1フォルダ再生中にこの再生モードにすると、フォルダ内の曲だけで再生されます。

1. ⤨ボタン①を押して、「⤨」を表示させる

2. ►/❙❙ボタン②を押す
ランダム再生が始まります。

● **ランダム再生を解除するには**:⤨ボタン①を押して、「⤨」が点灯していない状態にします。

SDカードの再生・録音

リピート再生(リモコンでの操作のみ)

1つのファイルをくり返し再生する「1曲リピート」、すべてのファイルをくり返し再生する「全曲リピート」を行うことができます。

- 1フォルダ再生中またはメモリー再生中にこの再生モードにすると、フォルダ内やメモリー登録された曲の中だけで再生されます。
- ランダム再生中にこの再生モードにすると、ランダム再生設定のまま、リピート再生を行うことができます。

1曲リピート、全曲リピート

1. ボタン③を(くり返し)押して「」(全曲リピート)または「1」(1曲リピート)を表示させせます。

- 表示は「」(全曲リピート)の場合です。

2. ►/IIボタン②を押す

リピート再生が始まります。

● **リピート再生を解除するには**:ボタン③を押して、「」が点灯していない状態にします。

表示切換について

表示部の情報を切り換える

本体のDISPLAYボタン、またはリモコンの表示切換ボタンを(くり返し)押すと、表示される情報の切り換えができます。表示された情報は、しばらくすると元の表示に戻ります。

● **停止中は**:総フォルダ数、総ファイル数、ボリュームラベルが表示されます。(ボタンを押しても表示は切り換わりません。)

● **再生中は**:再生曲経過時間、ファイル名、フォルダ名、サンプリング周波数とビットレート/ビット数、あるいは再生曲経過時間、タイトル、アーティスト名、アルバム名が順に表示されます。

MP3/WMA/WAVファイル再生時の表示方法を設定する

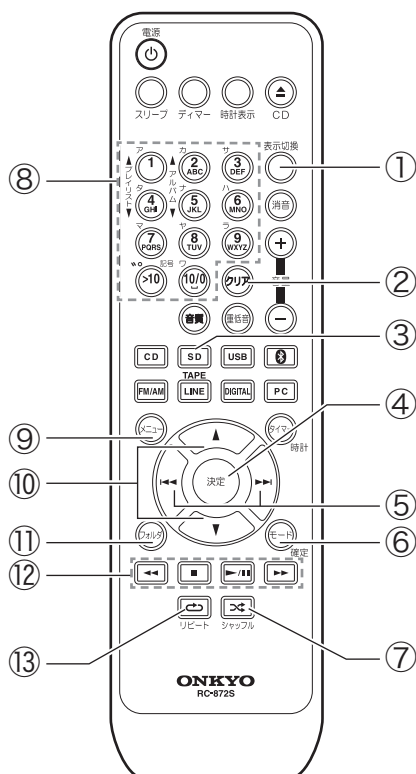
MP3、WMAやWAVファイルを再生するときの表示方法を設定することができます。停止中に本体のMENUボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Display Info >」を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。さらにMULTI JOGダイヤルを回して次の3つのパターンから選んでMULTI JOGダイヤルを押して決定します。表示を切り換えるには、再生中にDISPLAYボタンかリモコンの表示切換ボタンを押します。

- **「File Name」を選ぶと**:曲が変わるとファイル名がスクロール表示されます。再生中の表示切換は、ファイル名→フォルダ名→サンプリング周波数とビットレート/ビット数の順になります。
- **「Title」を選ぶと**:曲が変わるとタイトルがスクロール表示されます。再生中の表示切換は、タイトル→アーティスト名→アルバム名の順になります。
  - WAVファイルのタイトルなどのタグ情報を表示することはできません。WAVファイルを再生するときは「Title」を選ばないでください。
- **「Not Display」を選ぶと**: 常にフォルダ番号、ファイル番号、経過時間が表示されます。表示情報の切り換えはできません。

● **再生中の表示情報のスクロール方法を選ぶには**:停止中に本体のMENUボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Info Scroll >」を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。さらにMULTI JOGダイヤルを回して「Once」または「Repeat」を選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。
「Once」を選ぶと、情報が一度だけスクロール表示され、「Repeat」を選ぶと、情報がくり返しスクロール表示されます。

レジューム状態(➔P.28)では、該当の設定が選べませんので、停止ボタンを2回押してください。

SDカードの再生・録音

リモコンで操作する

① **表示切換ボタン**:表示部の情報を切り換えます。

② **クリアボタン**:メモリー再生モードの停止中に予約した曲を取り消します。(➔P.29)

③ **SDボタン**:入力切換を「SD」にします。

④ **決定ボタン**:選択した内容を決定します。

⑤ **⏮/⏭ボタン**:聞きたいファイルを選びます。
- ⏮ボタン:再生中、一時停止中にボタンを1回押すと聞いているファイルの頭に戻り、2回押すと前のファイルに戻ります。以降、押すたびに１つ前のファイルに戻ります。
- ⏭ボタン:押すたびに１つ次のファイルに進みます。

⑥ **モード/確定ボタン**:1フォルダ再生やメモリー再生を設定します。(➔P.29)

⑦ **🔀ボタン**:ランダム再生を設定します。(➔P.29)

⑧ **数字ボタン**:選曲して再生するときに使用します。
- 1～9ボタン:押した番号の曲を選曲します。
- 10/0ボタン:10曲目を選曲します。または0を入力します。
- ＞10ボタン:11曲目以降を選曲するときに使用します。

使用例:＞10、3、1の順に押すと31曲目を選曲します。
＞10、＞10、1、10/0、9で109曲目を選曲します。

⑨ **メニューボタン**:メニュー操作を開始します。メニュー操作中はメニューを終了します。

⑩ **▲/▼ボタン**:押すたびに、前/次のフォルダへ移動します。フォルダボタンを押したあとに、このボタンを押すと、フォルダ名を確認しながらフォルダを選択できます。メニュー操作中は、メニュー項目や設定値を選びます。

⑪ **フォルダボタン**:フォルダ名が表示され、フォルダが選択可能になります。(➔P.29)

⑫ **操作ボタン**:SDカードの操作に使用します。
- ◀◀/▶▶ボタン:再生中、一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。押したまま、前の曲に戻ったり、次の曲に進んだりすることはできません。
  - ▶▶ボタン:再生中、一時停止中に押し続けると、曲の最後から少し手前で止まります。指を離すと残りを再生した後、次の曲に進みます。
  - ◀◀ボタン:再生中、一時停止中に押し続けると、曲の最初から少し進んだところで止まります。指を離すとその位置から再生が始まります。

  メモリー再生モードの停止中に予約内容を確認します。(➔P.29)
- ■ボタン:再生中に1回押すと、その位置で停止します(レジューム)。もう1回押すとレジュームが解除されます。
- ►/❚❚ボタン:停止中に押すと、再生を始めます。再生中に押すと、一時停止します。入力が「SD」の状態で、電源をオフにした場合は、SDカードが挿入されていれば、ボタンを押すと自動的に電源が入り、再生が始まります。

⑬ **🔁ボタン**:リピート再生を設定します。(➔P.30)

SDカードの再生・録音

SDカードへの録音について

録音フォーマットや機能

- 録音できるソースは、CD/ラジオ放送/外部アナログ入力(LINE1, LINE2, TAPE)/Bluetooth接続の音源になります。
- 音楽CD/ラジオ放送/外部アナログ入力(LINE1, LINE2, TAPE)/Bluetooth接続の音源を録音する場合は、MP3またはWAVフォーマットのいずれかを選ぶことができます。
- MP3またはWMAフォーマットのCDを録音する場合は、コピーとなりますので同じフォーマットで録音されます。
- **録音可能なCDの最短曲長について**:音楽CDは「4秒」、MP３/WMAは「8秒」です。これより短い曲を録音することはできません。
- CDからの録音は1曲ずつ1ファイルに分かれます。ラジオ放送と外部アナログ入力およびBluetooth接続の音源は、音の切れ目などに関係なく録音開始から停止するまで1ファイルで録音されますが、「トラックマーク機能」(**➔P.34**)を使用すれば、無音状態などで曲の区切りを自動的に付けることができます。
- SD録音時に作成されるフォルダ、ファイルは次のようになります。(001は1番から始まる3桁の連番です。)
  - ルートフォルダ(SDカードをPC等で開くと最初に表示されるフォルダ)にRECORDフォルダができ、録音されたファイルはこの中にソースごとのフォルダに分かれて入ります。
  - RECORDフォルダの中に次のフォルダができます。録音開始するごとに新たなフォルダができ、録音されたファイルはその中に入ります。
    CD録音の場合:CDREC001 **FM録音の場合**:FMREC001
    AM録音の場合:AMREC001 **Bluetooth録音の場合**:BTREC001
    その他の録音の場合:EXREC001
    ファイル名は、Track001.MP3またはTrack001.WAVとなります。
- **MP3やWMAファイルのタグ情報について**:本機では録音時にタグ情報(タイトル、アーティスト名、アルバム名)を記録することはできません。ただし、MP3またはWMAディスクからの録音時は、タグ情報も同時に記録されます。

録音可能時間

録音フォーマット ＼ SD カード容量	4GB	8GB	16GB	32GB
MP3 128kbps	約69時間	約138時間	約276時間	約552時間
MP3 192kbps	約46時間	約92時間	約184時間	約368時間
MP3 256kbps	約34時間	約69時間	約138時間	約276時間
WAV	約6時間	約12時間	約25時間	約50時間

- フォルダ数:999、1フォルダ内のファイル数:999、総ファイル数:9999まで対応しています。

SDカードへ録音する

● **録音フォーマットの設定**：音楽CD/ラジオ放送/外部アナログ入力（LINE1, LINE2, TAPE）/Bluetooth接続の音源は、以下の操作でMP3またはWAVフォーマットのいずれかを選ぶことができます。なお、MP3またはWMAのCDを録音する場合は、録音フォーマットの設定に関係なく、同じフォーマットで録音されます。

■ **入力はSDにして、停止ボタン⑦を押して停止状態にします。レジューム状態では手順1の「Record Format ＞」が表示されませんので、停止ボタンを2回押してください。**

1. **MENUボタン①を押した後、MULTI JOGダイヤル②を回して「Record Format ＞」を選ぶ**
2. **MULTI JOGダイヤル②を押した後、MULTI JOGダイヤルを回して、「MP3 128kbps」、「MP3 192kbps」、「MP3 256kbps」または「WAV」のいずれかを選ぶ**
3. **MULTI JOGダイヤル②を押して決定する**
   - bps=ビットレートは1秒間あたりのデータ量を表す数値です。数値が大きいほど高音質になります。このビットレートを変更することで録音可能時間も変わります（**➔P.32**）。

CDからの1ディスク録音

ディスクの曲をすべて録音します。

- 1曲ずつ別のファイルに録音されます。

1. **SDカードスロット③に、SDカードを挿入する**
2. **録音するCDをディスクトレイにセットして閉じる**
3. **INPUTボタン④を（くり返し）押して入力を「CD」にする**
   表示部にCDの総曲数と総再生時間が表示されます。
   - MP3/WMAディスクの場合、フォルダ数、ファイル数、ディスク名が表示されます。
4. **●RECボタン⑤を押す**
   「REC START」が表示された後、録音が始まります。
   - 音楽CDの場合、●RECボタン⑤を長押しで高速録音（2倍速）が可能です。高速録音中は再生音は出ません。
   - 録音時には、音楽CDの場合は「時間」、MP3/WMAディスクの場合は「%」が表示されます。
   - 表示部に「CD Reading」と表示されている間は、録音を始めることはできません。
   - SDカードの残容量がないときは、「SD Full」と表示されます。
   - SDカードのLOCKスイッチがロック状態になっているときは、「SD Locked」と表示されます。
5. **CDの再生が終わるか、SDカードの最後まで録音すると、録音が止まります。**
   - 音楽CDの録音にはCDの記録時間と同じ時間がかかります。MP3、WMAが記録されたCDを録音する場合は、高速で録音します。
   - MP3、WMAが記録されたCDからの録音時には再生音は聞こえません。
   - MP3、WMAが記録されたCDからの録音時には、各ファイルのタグ情報は表示されません。
   - SDインジケーター⑥が点灯または点滅しているときに、SDカードや電源コードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

● **途中で録音を止めるには**：■ボタン⑦を押してください。（CD側の■ボタンでも停止できます。）「SD Writing」と表示され、録音が止まります。
「SD Writing」が表示されている間は、絶対SDカードを抜いたり、電源コードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

SDカードの再生•録音

CDからの1トラック録音

指定の1曲だけを録音します。

1. SDカードスロット③に、SDカードを挿入する

2. 録音するCDをディスクトレイにセットして閉じる

3. INPUTボタン④を(くり返し)押して入力を「CD」にする

表示部にCDの総曲数と総再生時間が表示されます。
- MP3/WMAディスクの場合、フォルダ数、ファイル数、ディスク名が表示されます。

4. MULTI JOGダイヤル②を回して録音したい曲を表示させる

5. ●RECボタン⑤を押す

「REC START」が表示された後、選んだ曲の録音が始まります。
- 音楽CDの場合、●RECボタンを長押しで高速録音(2倍速)が可能です。高速録音中は再生音は出ません。
- 録音時には、音楽CDの場合は「時間」、MP3/WMAディスクの場合は「%」が表示されます。

6. 曲の再生が終わると、録音が停止します。

● 途中で録音を止めるには:■ボタン⑦を押してください。(CD側の■ボタンでも停止できます。)「SD Writing」と表示され、録音が止まります。
「SD Writing」が表示されている間は、絶対SDカードを抜いたり、電源コードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

MP3/WMAディスクからの1フォルダ録音

MP3/WMAディスクのひとつのフォルダに入っている全曲(サブフォルダの曲を除く)を録音します。

1. SDカードスロット③に、SDカードを挿入する

2. 録音するCDをディスクトレイにセットして閉じる

3. INPUTボタン④を(くり返し)押して入力を「CD」にする

4. MODE/EXITボタン⑧を(くり返し)押して「▭」を点灯させる

5. FOLDERボタン⑨を押し、MULTI JOGダイヤル②を回して録音したいフォルダを選ぶ

6. ●RECボタン⑤を押す

選んだフォルダの録音が始まります。

7. フォルダ内のすべての曲が録音されると停止します。
- 録音中や「SD Writing」が表示されている間は、SDカードを抜いたり、電源コードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

チューナー(ラジオ放送)、外部機器からの録音

ラジオ放送や、接続した外部機器(※)からの音声を録音する操作です。お買い上げ時の設定では音の切れ目などに関係なく録音開始から停止するまで1ファイルで録音されます。自動で曲の区切りをつける場合は、下記の「トラックマーク機能」をご覧ください。
※TAPE/MD IN、LINE 1 IN、LINE 2 INに接続したアナログ音声、およびBluetooth音声のみ

1. SDカードスロット③に、SDカードを挿入する

2. INPUTボタン④を(くり返し)押して録音したい入力に切り換える

FM放送なら「FM」、AM放送なら「AM」、LINE 1 IN、LINE 2 IN、TAPE端子に接続した外部機器の音声なら「LINE1」、「LINE2」または「TAPE」、Bluetooth接続なら「Bluetooth」を表示させせます。

3. ●RECボタン⑤を押す

SDインジケーター⑥が赤く点灯し、録音が始まりますので、ここで外部機器の再生を始めます。
- RECボタンを押してから実際に録音が始まるまで、数秒間かかります。

4. 録音を停止する

■ボタン⑦を押すと、「SD Writing」と表示され、録音が止まります。
- 「SD Writing」が表示されている間は、絶対SDカードを抜いたり、電源コードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

自動で曲の区切りをつける(トラックマーク機能)

CD以外のソースを録音するとき、一定の時間ごと、あるいは無音状態が続いたあとに、自動的に曲の区切りをつけることができます。
録音したいソースの入力(FMなど)を選んだうえで、MENUボタン①を押しMULTI JOGダイヤル②を回して、「Track Mark >」を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押します。さらにMULTI JOGダイヤルを回して、次の3つの設定から選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。
- **「Level Sync」**:無音状態が2〜3秒以上続いたあと、音が入った時に区切り
- **「5 min」**:5分ごとに区切り
- **「10 min」**:10分ごとに区切り
- **「Off」**:自動で曲の区切りをつけません。

ご注意:曲の区切りで一瞬音が途切れます。音楽などの録音で音が途切れてしまうと困る場合は、この機能は使用しないでください。

● Level Syncのレベルを調整するには:無音状態と判断するレベルを調整します。録音したいソースの入力(FMなど)を選んだうえで、MENUボタン①を押しMULTI JOGダイヤル②を回して、「L. Sync Level >」を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押します。お買い上げ時は「-50dB」です。このレベルを大きくすると無音と判断しやすくなり曲の区切りがつきやすくなります。FMなどノイズが大きいソースの場合は、「-40dB」などにレベルを上げてください。逆に区切りがつきすぎるときは、レベルを下げてください。

SDカードの再生・録音

SDカードに録音したファイルの消去

■ 停止ボタン⑦を押して停止状態にします。レジューム状態では手順3の「Track Erase>」が表示されませんので、停止ボタンを２回押してください。

1. 消去したい曲を選ぶ

2. MENUボタン①を押す

3. MULTI JOGダイヤル②を回して「Track Erase>」を選び、MULTI JOGダイヤルを押す

選ばれたファイルのフォルダ番号とファイル番号が表示されます。

- しばらく何も操作しないと元の表示に戻ります。

4. MULTI JOGダイヤル②を押す

「Track Erase??」が表示されます。

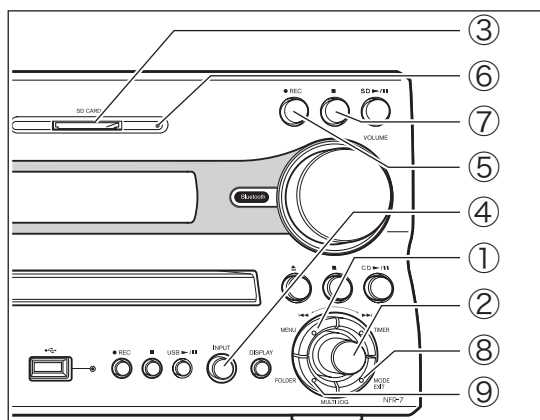
5. MULTI JOGダイヤル②を押す

ファイルが消去され、「Complete」（完了）が表示されます。

- フォルダ内のすべてのファイルを消去すると、そのフォルダは認識されなくなります。

編集はできません：録音した音楽の消去は可能ですが、曲の分割、結合、曲名の入力などの編集機能はありません。

USBメモリーの再生・録音

前面パネルのUSB端子に録音済みのUSBメモリーを接続すれば、ミュージックサーバーのように長時間プレイで音楽を楽しめます。USBメモリーへの録音はCD録音のほかにラジオ放送や外部機器(アナログ音声入力のみ)からも可能です。録音した音楽ファイルをUSBメモリー経由でパソコンに移すことも、パソコン内の音楽ファイルをUSBメモリーに移して本機で再生することもできます。

使用できるUSBメモリーについて

USBメモリーのファイルシステムはFAT16とFAT32に対応しています。exFATなど対応していないファイルシステムのUSBメモリーは、ご使用前にパソコンで対応するファイルシステムに初期化(フォーマット)してください。

- セキュリティをかけたUSBメモリーは使用できません。暗号化ソフトなどは使用しないでください。
- フォルダ数:999、1フォルダ内のファイル数:999、総ファイル数:9999まで対応しています。
- 万が一、本機やUSBメモリーの不具合により、正常に録音、再生ができない場合、そのコンテンツについての補償はできかねます。また、本機の不具合によるものも含め、消去したコンテンツの修復はできません。あらかじめご了承ください。
  事前に、録音するフォーマット(「WAV」など)で、正常に録音できるか確認されることをお勧めします。正常に動作しない場合は、USBメモリーを取り替えてみてください。
- USB1.1にのみ対応しているUSBメモリーは使用できません。USB2.0に対応しているUSBメモリーをご使用ください。
- USBハブは使用できません。USBメモリーは直接本機のUSB端子に接続してください。
- 前面のUSB端子はマスストレージクラスでないiPod、ウォークマン、スマートフォンなどには対応していません。
- 前面のUSB端子にパソコンは接続できません。パソコンとの接続には、後面パネルのUSB TypeB端子をお使いください。

USBメモリーの再生について

再生可能なファイルフォーマット

本機で再生可能なファイルは以下のとおりです。

MP3
拡張子:MP3、mp3
ビットレート:32kbps〜320kbps、VBR
サンプリングレート:32kHz、44.1kHz、48kHz

WMA
拡張子:WMA、wma
ビットレート:32kbps〜320kbps、VBR
サンプリングレート:32kHz、44.1kHz、48kHz

- WMA Lossless、WMA Pro、WMA Voiceには対応しません。

WAV
拡張子:WAV、wav
ビット数:16bit、24bit
サンプリングレート:32kHz、44.1kHz、48kHz

- すべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- DRM(デジタル著作権管理)によって著作権保護されているファイルは再生できません。
- VBR(可変ビットレート)ファイルの再生時間は正確に表示されないことがあります。また、正常に早戻し/早送りできないことがあります。

再生する順序

本機で録音した場合、ファイルの再生順序は録音順になります。ただし、ファイルを削除したあとに録音すると、録音されたファイルがその位置に入り、再生順が変わることがあります。また、パソコンでファイルを削除、コピーあるいは名前を変更したあとに再生すると、録音した順番通りに再生できないことがあります。

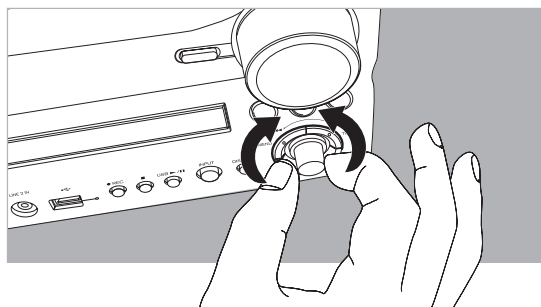
USBメモリーを再生する

■ **電源がONの状態で**

1. INPUTボタン①を(くり返し)押して、表示部に「USB Reading」を表示させる

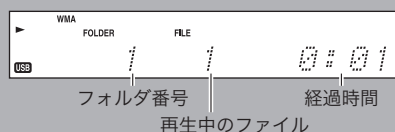
2. USB端子②に、USBメモリーを接続する

- USBメモリーに多くのデータが入っているときは、読み込みに時間がかかる場合があります。
- しばらくすると表示部にフォルダ数などが表示されます。

3. MULTI JOGダイヤル③を回して再生するファイルを選ぶ

音楽ファイルがフォルダで整理されている場合は、停止中にFOLDERボタン④を押した後、MULTI JOGダイヤル③を回してフォルダを選び、MULTI JOGダイヤルを押します。

- 停止中はMULTI JOGダイヤル③を押すと、再生が始まります。また、再生中にMULTI JOGダイヤルを押すと、次のフォルダの1曲目へ進みます。
- 再生できないファイルを選ぶと「Not Support」と表示され、次の再生可能なファイルを再生します。

4. USB►/❚❚ボタン⑤を押す

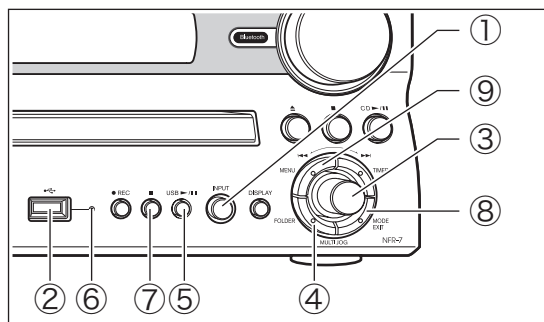
再生が始まり、USBインジケーター⑥が緑色に点灯します。

● **再生の停止は**：再生中に■ボタン⑦を押します。1回押すと、停止したところから再生が始まるレジューム機能が設定された状態で停止します。2回押すと、レジューム機能が解除され、USBメモリーの最初から再生されます。

● **一時停止は**：再生中に、USB►/❚❚ボタン⑤を押せば、USBインジケーター⑥が緑色に点滅し一時停止します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

● **USBメモリーの取り外しは**：■ボタン⑦を押して停止してください。USBインジケーター⑥が消灯していることを確認してから、取り外してください。

- USBインジケーター⑥の点灯/点滅中にUSBメモリーを取り外すと故障の原因となります。故障したUSBメモリーや損傷したファイルなどの補償はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

● **制限事項**：日本語のファイル名/フォルダ名/タイトル/アーティスト名/アルバム名で、漢字など表示できない文字は「･」に置き換えられ、ひらがなはカタカナに変換されて表示されます。

いろいろな再生方法

1フォルダ再生

現在のフォルダ内の曲だけを再生します。

■ 入力がUSBで、停止中に

1. MODE/EXITボタン⑧を(くり返し)押して「▭」を表示させる
- **リモコンでは**:モード/確定ボタンを(くり返し)押します。

2. USB►/❚❚ボタン⑤を押す
1フォルダ再生が始まります。
- **リモコンでは**:►/❚❚ボタンを押します。

● **フォルダを選んでから再生するには**:FOLDERボタン④を押しフォルダ名を表示させます。MULTI JOGダイヤル③を回してフォルダを選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。
- **リモコンでは**:フォルダボタンを押してから、▲/▼ボタンでフォルダを選び、決定ボタンを押します。

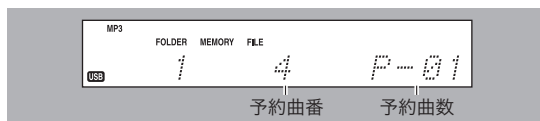
● **1フォルダ再生を解除するには**:停止中(レジューム中)にMODE/EXITボタン⑧またはリモコンのモード/確定ボタンを(くり返し)押して、「▭」が点灯していない状態にします。

メモリー再生

曲を指定し登録すると(25曲まで)、その順序で再生します。メモリー登録すると、リピート再生のときは、登録された曲だけで再生します。
- メモリー再生中に、ランダム再生を設定することはできません。

■ 入力がUSBで、停止中に

1. MODE/EXITボタン⑧を(くり返し)押して「MEMORY」を表示させる
- **リモコンでは**:モード/確定ボタンを(くり返し)押します。

2. MULTI JOGダイヤル③を回して曲を選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定する
次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。なお、26曲以上は予約できません(「Memory Full」と表示されます)。
- **リモコンでは**:▲/▼ボタンでフォルダを選んだ後、⏮/⏭ボタンで曲を選び、決定ボタンを押します。

3. USB►/❚❚ボタン⑤を押す
メモリー再生が始まります。再生が終っても予約内容は消えません。
- **リモコンでは**:►/❚❚ボタンを押します。

● **予約した曲の中で選曲するには**:再生中にMULTI JOGダイヤル③を回すか、リモコンの⏮/⏭ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

● **予約した内容を確認するには**:停止中にリモコンの◄◄/►►ボタンを押すと、予約内容を確認できます。

● **予約した曲を取り消すには**:メモリー再生モードの停止中に、MENUボタン⑨またはリモコンのクリアボタンあるいはメニューボタンを押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。一度メモリー再生モードを解除すると、記憶した内容は消えます。

● **メモリー再生を解除するには**:MODE/EXITボタン⑧またはリモコンのモード/確定ボタンを(くり返し)押して、「MEMORY」が点灯していない状態にします。
USBメモリーを取り外したり、入力を切り換えても、メモリー再生が解除されます。また、電源をスタンバイ状態にしてもメモリー再生が解除されます。

USBメモリーの再生・録音

ランダム再生(リモコンでの操作のみ)

曲順をランダムに並べかえて、全曲をひと通り再生します。

- 1フォルダ再生中にこの再生モードにすると、フォルダ内の曲だけで再生されます。

1. ボタン①を押して、「」を表示させる

2. ►/IIボタン②を押す

ランダム再生が始まります。

● **ランダム再生を解除するには**:ボタン①を押して、「」が点灯していない状態にします。

リピート再生(リモコンでの操作のみ)

1つのファイルをくり返し再生する「1曲リピート」、すべてのファイルをくり返し再生する「全曲リピート」を行うことができます。

- 1フォルダ再生中またはメモリー再生中にこの再生モードにすると、フォルダ内やメモリー登録された曲の中だけで再生されます。
- ランダム再生中にこの再生モードにすると、ランダム再生設定のまま、リピート再生を行うことができます。

1曲リピート、全曲リピート

1. ボタン③を(くり返し)押して「」(全曲リピート)または「1」(1曲リピート)を表示させます。

- 表示は「」(全曲リピート)の場合です。

2. ►/IIボタン②を押す

リピート再生が始まります。

● **リピート再生を解除するには**:ボタン③を押して、「」が点灯していない状態にします。

表示切換について

表示部の情報を切り換える

本体のDISPLAYボタン、またはリモコンの表示切換ボタンを(くり返し)押すと、表示される情報の切り換えができます。表示された情報は、しばらくすると元の表示に戻ります。

● **停止中は**:総フォルダ数、総ファイル数、ボリュームラベルが表示されます。(ボタンを押しても表示は切り換わりません。)

● **再生中は**:再生曲経過時間、ファイル名、フォルダ名、サンプリング周波数とビットレート/ビット数、あるいは再生曲経過時間、タイトル、アーティスト名、アルバム名が順に表示されます。

MP3/WMA/WAVファイル再生時の表示方法を設定する

MP3、WMAやWAVファイルを再生するときの表示方法を設定することができます。停止中に本体のMENUボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Display Info >」を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。さらにMULTI JOGダイヤルを回して次の3つのパターンから選んでMULTI JOGダイヤルを押して決定します。表示を切り換えるには、再生中にDISPLAYボタンかリモコンの表示切換ボタンを押します。

- **「File Name」を選ぶと**:曲が変わるとファイル名がスクロール表示されます。再生中の表示切換は、ファイル名→フォルダ名→サンプリング周波数とビットレート/ビット数の順になります。
- **「Title」を選ぶと**:曲が変わるとタイトルがスクロール表示されます。再生中の表示切換は、タイトル→アーティスト名→アルバム名の順になります。
  - WAVファイルのタイトルなどのタグ情報を表示することはできません。WAVファイルを再生するときは「Title」を選ばないでください。
- **「Not Display」を選ぶと**: 常にフォルダ番号、ファイル番号、経過時間が表示されます。表示情報の切り換えはできません。

● **再生中の表示情報のスクロール方法を選ぶには**:停止中に本体のMENUボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Info Scroll >」を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。さらにMULTI JOGダイヤルを回して「Once」または「Repeat」を選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。
「Once」を選ぶと、情報が一度だけスクロール表示され、「Repeat」を選ぶと、情報がくり返しスクロール表示されます。

レジューム状態(➔**P.37**)では、該当の設定が選べませんので、停止ボタンを2回押してください。

2. 基本操作
USBメモリーの再生・録音

リモコンで操作する

① **表示切換ボタン**：表示部の情報を切り換えます。

② **クリアボタン**：メモリー再生モードの停止中に予約した曲を取り消します。(➔**P.38**)

③ **USBボタン**：入力切換を「USB」にします。

④ **決定ボタン**：選択した内容を決定します。

⑤ **⏮/⏭ボタン**：聞きたいファイルを選びます。
- ⏮ボタン：再生中、一時停止中にボタンを1回押すと聞いているファイルの頭に戻り、2回押すと前のファイルに戻ります。以降、押すたびに１つ前のファイルに戻ります。
- ⏭ボタン：押すたびに１つ次のファイルに進みます。

⑥ **モード/確定ボタン**：1フォルダ再生やメモリー再生を設定します。(➔**P.38**)

⑦ **🔀ボタン**：ランダム再生を設定します。(➔**P.39**)

⑧ **数字ボタン**：選曲して再生するときに使用します。
- 1〜9ボタン：押した番号の曲を選曲します。
- 10/0ボタン：10曲目を選曲します。または0を入力します。
- ＞10ボタン：11曲目以降を選曲するときに使用します。

使用例：＞10、3、1の順に押すと31曲目を選曲します。
＞10、＞10、1、10/0、9で109曲目を選曲します。

⑨ **メニューボタン**：メニュー操作を開始します。メニュー操作中はメニューを終了します。

⑩ **▲/▼ボタン**：押すたびに、前/次のフォルダへ移動します。フォルダボタンを押したあとに、このボタンを押すと、フォルダ名を確認しながらフォルダを選択できます。メニュー操作中は、メニュー項目や設定値を選びます。

⑪ **フォルダボタン**：フォルダ名が表示され、フォルダが選択可能になります。(➔**P.38**)

⑫ **操作ボタン**：USBメモリーの操作に使用します。
- ◀◀/▶▶ボタン：再生中、一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。押したまま、前の曲に戻ったり、次の曲に進んだりすることはできません。
  - ▶▶ボタン：再生中、一時停止中に押し続けると、曲の最後から少し手前で止まります。指を離すと残りを再生した後、次の曲に進みます。
  - ◀◀ボタン：再生中、一時停止中に押し続けると、曲の最初から少し進んだところで止まります。指を離すとその位置から再生が始まります。

  メモリー再生モードの停止中に予約内容を確認します。(➔**P.38**)
- ■ボタン：再生中に1回押すと、その位置で停止します（レジューム）。もう1回押すとレジュームが解除されます。
- ►/❚❚ボタン：停止中に押すと、再生を始めます。再生中に押すと、一時停止します。入力が「USB」の状態で、電源をオフにした場合は、USBメモリーが接続されていれば、ボタンを押すと自動的に電源が入り、再生が始まります。

⑬ **🔁ボタン**：リピート再生を設定します。(➔**P.39**)

USBメモリーへの録音について

録音フォーマットや機能

- 録音できるソースは、CD/ラジオ放送/外部アナログ入力(LINE1, LINE2, TAPE)/Bluetooth接続の音源になります。
- 音楽CD/ラジオ放送/外部アナログ入力(LINE1, LINE2, TAPE)/Bluetooth接続の音源を録音する場合は、MP3またはWAVフォーマットのいずれかを選ぶことができます。
- MP3またはWMAフォーマットのCDを録音する場合は、コピーとなりますので同じフォーマットで録音されます。
- **録音可能なCDの最短曲長について**:音楽CDは「4秒」、MP３/WMAは「8秒」です。これより短い曲を録音することはできません。
- CDからの録音は1曲ずつ1ファイルに分かれます。ラジオ放送と外部アナログ入力およびBluetooth接続の音源は、音の切れ目などに関係なく録音開始から停止するまで1ファイルで録音されますが、「トラックマーク機能」(**➔P.43**)を使用すれば、無音状態などで曲の区切りを自動的に付けることができます。
- USB録音時に作成されるフォルダ、ファイルは次のようになります。(001は1番から始まる3桁の連番です。)
  - ルートフォルダ(USBメモリーをPC等で開くと最初に表示されるフォルダ)にRECORDフォルダができ、録音されたファイルはこの中にソースごとのフォルダに分かれて入ります。
  - RECORDフォルダの中に次のフォルダができます。録音開始するごとに新たなフォルダができ、録音されたファイルはその中に入ります。
    CD録音の場合:CDREC001 **FM録音の場合**:FMREC001
    AM録音の場合:AMREC001 **Bluetooth録音の場合**:BTREC001
    その他の録音の場合:EXREC001
    ファイル名は、Track001.MP3またはTrack001.WAVとなります。
- **MP3やWMAファイルのタグ情報について**:本機では録音時にタグ情報(タイトル、アーティスト名、アルバム名)を記録することはできません。ただし、MP3またはWMAディスクからの録音時は、タグ情報も同時に記録されます。

録音可能時間

録音フォーマット \ USB メモリー容量	4GB	8GB	16GB	32GB
MP3 128kbps	約69時間	約138時間	約276時間	約552時間
MP3 192kbps	約46時間	約92時間	約184時間	約368時間
MP3 256kbps	約34時間	約69時間	約138時間	約276時間
WAV	約6時間	約12時間	約25時間	約50時間

- フォルダ数:999、1フォルダ内のファイル数:999、総ファイル数:9999まで対応しています。

USBメモリーへ録音する

● **録音フォーマットの設定**：音楽CD/ラジオ放送/外部アナログ入力（LINE1, LINE2, TAPE）/Bluetooth接続の音源は、以下の操作でMP3またはWAVフォーマットのいずれかを選ぶことができます。なお、MP3またはWMAのCDを録音する場合は、録音フォーマットの設定に関係なく、同じフォーマットで録音されます。

■ **入力はUSBにして、停止ボタン⑥を押して停止状態にします。レジューム状態では手順1の「Record Format >」が表示されませんので、停止ボタンを2回押してください。**

1. **MENUボタン①を押した後、MULTI JOGダイヤル②を回して「Record Format >」を選ぶ**
2. **MULTI JOGダイヤル②を押した後、MULTI JOGダイヤルを回して、「MP3 128kbps」、「MP3 192kbps」、「MP3 256kbps」または「WAV」のいずれかを選ぶ**
3. **MULTI JOGダイヤル②を押して決定する**
   - bps=ビットレートは1秒間あたりのデータ量を表す数値です。数値が大きいほど高音質になります。このビットレートを変更することで録音可能時間も変わります（➔**P.41**）。

CDからの1ディスク録音

ディスクの曲をすべて録音します。

- 1曲ずつ別のファイルに録音されます。

1. **USB端子③に、USBメモリーを接続する**
2. **録音するCDをディスクトレイにセットして閉じる**
3. **INPUTボタン④を（くり返し）押して入力を「CD」にする**
   表示部にCDの総曲数と総再生時間が表示されます。
   - MP3/WMAディスクの場合、フォルダ数、ファイル数、ディスク名が表示されます。
4. **●RECボタン⑤を押す**
   「REC START」が表示された後、録音が始まります。
   - 音楽CDの場合、●RECボタン⑤を長押しで高速録音（2倍速）が可能です。高速録音中は再生音は出ません。
   - 録音時には、音楽CDの場合は「時間」、MP3/WMAディスクの場合は「%」が表示されます。
   - 表示部に「CD Reading」と表示されている間は、録音を始めることはできません。
   - USBメモリーの残容量がないときは、「USB Full」と表示されます。
5. **CDの再生が終わるか、USBメモリーの最後まで録音すると、録音が止まります。**
   - 音楽CDの録音にはCDの記録時間と同じ時間がかかります。MP3、WMAが記録されたCDを録音する場合は、高速で録音します。
   - MP3、WMAが記録されたCDからの録音時には再生音は聞こえません。
   - MP3、WMAが記録されたCDからの録音時には、各ファイルのタグ情報は表示されません。
   - USBインジケーター⑦が点灯または点滅しているときに、USBメモリーや電源コードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

● **途中で録音を止めるには**：■ボタン⑥を押してください。（CD側の■ボタンでも停止できます。）「USB Writing」と表示され、録音が止まります。
「USB Writing」が表示されている間は、絶対USBメモリーを抜いたり、電源コードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

USBメモリーの再生・録音

CDからの1トラック録音

指定の1曲だけを録音します。

1. USB端子③に、USBメモリーを接続する

2. 録音するCDをディスクトレイにセットして閉じる

3. INPUTボタン④を(くり返し)押して入力を「CD」にする
表示部にCDの総曲数と総再生時間が表示されます。
- MP3/WMAディスクの場合、フォルダ数、ファイル数、ディスク名が表示されます。

4. MULTI JOGダイヤル②を回して録音したい曲を表示させる

5. ●RECボタン⑤を押す
「REC START」が表示された後、選んだ曲の録音が始まります。
- 音楽CDの場合、●RECボタンを長押しで高速録音(2倍速)が可能です。高速録音中は再生音は出ません。
- 録音時には、音楽CDの場合は「時間」、MP3/WMAディスクの場合は「%」が表示されます。

6. 曲の再生が終わると、録音が停止します。

● 途中で録音を止めるには:■ボタン⑥を押してください。(CD側の■ボタンでも停止できます。)「USB Writing」と表示され、録音が止まります。
「USB Writing」が表示されている間は、絶対USBメモリーを抜いたり、電源コードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

MP3/WMAディスクからの1フォルダ録音

MP3/WMAディスクのひとつのフォルダに入っている全曲(サブフォルダの曲を除く)を録音します。

1. USB端子③に、USBメモリーを接続する

2. 録音するCDをディスクトレイにセットして閉じる

3. INPUTボタン④を(くり返し)押して入力を「CD」にする

4. MODE/EXITボタン⑧を(くり返し)押して「□」を点灯させる

5. FOLDERボタン⑨を押し、MULTI JOGダイヤル②を回して録音したいフォルダを選ぶ

6. ●RECボタン⑤を押す
選んだフォルダの録音が始まります。

7. フォルダ内のすべての曲が録音されると停止します。
- 録音中や「USB Writing」が表示されている間は、USBメモリーを抜いたり、電源コードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

チューナー(ラジオ放送)、外部機器からの録音

ラジオ放送や、接続した外部機器(※)からの音声を録音する操作です。お買い上げ時の設定では音の切れ目などに関係なく録音開始から停止するまで1ファイルで録音されます。自動で曲の区切りをつける場合は、下記の「トラックマーク機能」をご覧ください。
※TAPE/MD IN、LINE 1 IN、LINE 2 INに接続したアナログ音声、およびBluetooth音声のみ

1. USB端子③に、USBメモリーを接続する

2. INPUTボタン④を(くり返し)押して録音したい入力に切り換える
FM放送なら「FM」、AM放送なら「AM」、LINE 1 IN、LINE 2 IN、TAPE端子に接続した外部機器の音声なら「LINE1」、「LINE2」または「TAPE」、Bluetooth接続なら「Bluetooth」を表示させます。

3. ●RECボタン⑤を押す
USBインジケーター⑦が赤く点灯し、録音が始まりますので、ここで外部機器の再生を始めます。
- RECボタンを押してから実際に録音が始まるまで、数秒間かかります。

4. 録音を停止する
■ボタン⑥を押すと、「USB Writing」と表示され、録音が止まります。
- 「USB Writing」が表示されている間は、絶対USBメモリーを抜いたり、電源コードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

自動で曲の区切りをつける(トラックマーク機能)

CD以外のソースを録音するとき、一定の時間ごと、あるいは無音状態が続いたあとに、自動的に曲の区切りをつけることができます。
録音したいソースの入力(FMなど)を選んだうえで、MENUボタン①を押しMULTI JOGダイヤル②を回して、「Track Mark >」を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押します。さらにMULTI JOGダイヤルを回して、次の3つの設定から選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。
- **「Level Sync」**:無音状態が2〜3秒以上続いたあと、音が入った時に区切り
- **「5 min」**:5分ごとに区切り
- **「10 min」**:10分ごとに区切り
- **「Off」**:自動で曲の区切りをつけません。

> **ご注意:**曲の区切りで一瞬音が途切れます。音楽などの録音で音が途切れてしまうと困る場合は、この機能は使用しないでください。

● Level Syncのレベルを調整するには:無音状態と判断するレベルを調整します。録音したいソースの入力(FMなど)を選んだうえで、MENUボタン①を押しMULTI JOGダイヤル②を回して、「L. Sync Level >」を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押します。お買い上げ時は「-50dB」です。このレベルを大きくすると無音と判断しやすくなり曲の区切りがつきやすくなります。FMなどノイズが大きいソースの場合は、「-40dB」などにレベルを上げてください。逆に区切りがつきすぎるときは、レベルを下げてください。

USBメモリーに録音したファイルの消去

■ **停止ボタン⑥を押して停止状態にします。レジューム状態では手順3の「Track Erase>」が表示されませんので、停止ボタンを２回押してください。**

1. 消去したい曲を選ぶ

2. MENUボタン①を押す

3. MULTI JOGダイヤル②を回して「Track Erase>」を選び、MULTI JOGダイヤルを押す
選ばれたファイルのフォルダ番号とファイル番号が表示されます。
- しばらく何も操作しないと元の表示に戻ります。

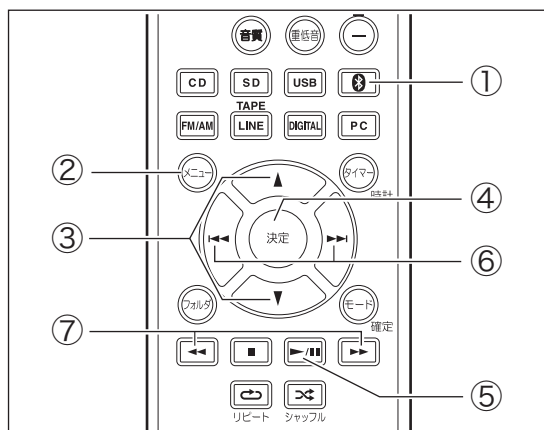
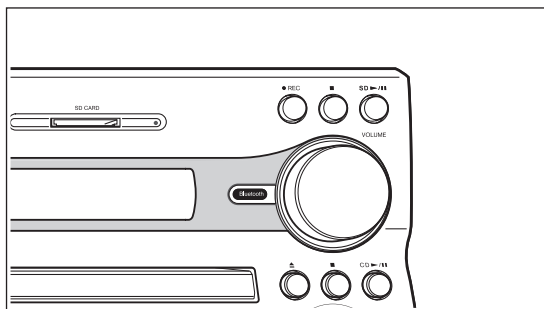
4. MULTI JOGダイヤル②を押す
「Track Erase??」が表示されます。

5. MULTI JOGダイヤル②を押す
ファイルが消去され、「Complete」（完了）が表示されます。

- フォルダ内のすべてのファイルを消去すると、そのフォルダは認識されなくなります。

> **編集はできません：**録音した音楽の消去は可能ですが、曲の分割、結合、曲名の入力などの編集機能はありません。

Bluetooth対応機器を再生する

スマートフォンやデジタル音楽プレーヤー、PCなどBluetooth対応機器の音声をワイヤレスで楽しむことができます。また、本機のリモコンでBluetooth対応機器を操作することもできます。

Bluetooth対応機器とペアリング(機器登録)する

ペアリングについて

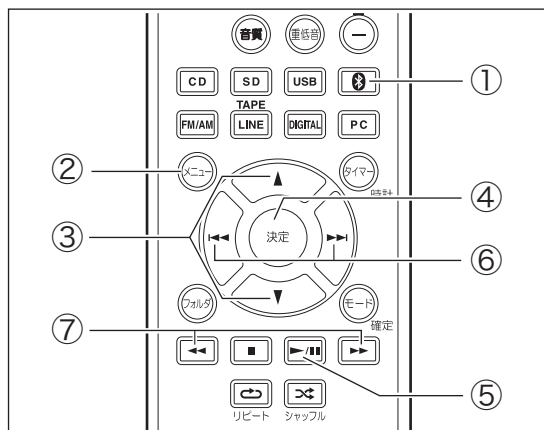
Bluetooth対応機器の音声を本機で楽しむときは、はじめに1回だけ「ペアリング」を行う必要があります。この操作をスムーズに行うために、事前にBluetooth対応機器のペアリングの操作手順を取扱説明書などでお調べください。

- 本機は8台までのペアリング情報を記憶できます。9台目のペアリングをすると、最も古く接続した機器のペアリング情報が削除されます。
- 2台目以降の機器とうまくペアリングできないときは、ペアリングする機器以外の機器の電源を切るかBluetooth機能をオフにしてから、下記の手順1～4を行ってください。
- 本機のBluetoothをリセットしたり、Bluetooth対応機器側で本機の登録を削除した場合は、もう一度ペアリングをやり直す必要があります。
- Bluetooth対応機器のアップデートなどで、正常にBluetooth接続できなくなったり動作しなくなったときは、一度Bluetooth対応機器側の本機とのペアリングを削除した後、再びペアリングしてください。それでも正常に接続できない場合は、「ペアリング情報を削除する」(**➔P.46**)を参照して、本機のペアリング情報をすべて削除したあと、再びペアリングしてください。

1. **本機とBluetooth対応機器を1m以内の距離に置き、それぞれの電源を入れる**
2. **本体のBluetoothボタンまたはリモコンのボタン①を押して入力をBluetoothに切り換える**
3. **本体のBluetoothボタンまたはリモコンのボタン①を3秒以上押す**
   本体のBluetoothボタンが青色に点滅し、表示部に「Pairing...」と表示され、本機がペアリングモードになります。
   - メニューボタン②からの操作でペアリングモードにすることもできます。
4. **Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにしたうえで、本機とのペアリングを行う**

- Bluetooth対応機器の取扱説明書を参照して操作してください。
- Bluetooth対応機器によってはペアリングや接続に時間がかかる場合があります。
- 本機のペアリングモードは約3分で解除され、本体のBluetoothボタンが消灯します。その場合は、再び手順3から操作してください。
- ペアリング操作中にBluetooth機器に登録対象の選択画面が表示される場合は、「Onkyo NFR-7」または「Onkyo NFR-9」を選んでください。
- ペアリング操作中にパスコード(パスワード、パスキー、PINコード)を要求されたら、「0000」を入力してください。
- ペアリングが完了してBluetoothが接続されると、本体のBluetoothボタンが青色に点灯します。
- お買い上げ後はじめて電源を入れて入力をBluetoothに切り換えたときやBluetoothをリセットしたときは、本機が自動的にペアリングモードになることがあります。

Bluetooth接続での再生

Bluetooth機能を使い、音楽を楽しむ

スマートフォンなどのBluetooth対応機器とのペアリング(➔P.45)が完了し、その機器のBluetooth機能がオンになっていることを確認してください。

1. Bluetooth対応機器側で接続操作を行う

Bluetooth対応機器が接続されると、本機の入力が自動的に「Bluetooth」に切り換わります。(時間がかかる場合があります。)Bluetooth接続中は、本体のBluetoothボタンが青く点灯します。

- 本機の入力が切り換わらない場合はリモコンのBluetoothボタン①、または本体のBluetoothボタンを押してください。
- Bluetooth対応機器によっては、リモコンのBluetoothボタン①または本体のBluetoothボタンを押して本機の入力をBluetoothに切り換えても、最後に接続したBluetooth対応機器に接続することができます。

2. Bluetooth対応機器側で音声を再生する

- Bluetooth対応機器の音量が小さすぎると、いくら本機の音量を上げても音があまり大きくなりません。Bluetooth対応機器の音量を適切に上げてください。
- Bluetooth対応機器のイコライザーやバスブースト機能などがオンになっていると、音がひずむことがあります。

リモコンでの操作

● **再生は**:►/❙❙ボタン⑤を押します。

● **一時停止は**:再生中に►/❙❙ボタン⑤を押します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

● **曲を選ぶには**:⏮/⏭ボタン⑥を押します。

● **早戻し、早送りするには**:◄◄/►►ボタン⑦を押し続け、希望のところで指を離します。

Bluetoothを切断する

Bluetooth接続中に本体のBluetoothボタンを押します。または入力をBluetooth以外へ切り換えます。

Bluetooth接続中に別のBluetooth対応機器を再生する

一度にBluetooth接続できるのは1台です。別のBluetooth対応機器を再生するときは、まず現在のBluetooth接続を切断する必要があります。その後、別のBluetooth対応機器から接続を行い、再生してください。

Bluetoothスタンバイを使う

この機能をオンに設定すると、本機の電源がスタンバイ中に、Bluetooth対応機器からBluetooth接続すれば本機の電源をオンにすることができます。

- オートスタンバイ機能をオンに設定する(➔P.18)と、Bluetooth対応機器側からBluetoothを切断し、本機を何も操作しないと、約20分で本機の電源が切れてBluetoothスタンバイ状態になります。また、Bluetooth対応機器が本機から離れてBluetoothが切断された場合も、本機を何も操作しなければ、約20分でBluetoothスタンバイ状態になります。その後、Bluetooth対応機器が近づいてBluetooth接続したときも、本機の電源が入ります。
- オートスタンバイ機能がオフに設定されている場合(➔P.18)は、上記の約20分でBluetoothスタンバイ状態になる機能は働きません。電源ボタンで電源を切ってください。
- Bluetoothスタンバイ中は、待機時消費電力が14Wに増えます。

■ 電源がONの状態で

1. リモコンのBluetoothボタン①または本体のBluetoothボタンを押して、入力をBluetoothに切り換える

2. メニューボタン②を押し、▲/▼ボタン③で「Standby Mode >」を表示させる

3. 決定ボタン④を押す

4. ▲/▼ボタン③で「Bluetooth」を選び、決定ボタン④を押す

- 「Normal」を選び、決定ボタン④を押すと、Bluetoothスタンバイが解除されます。
- 電源ボタンを押して、本機をスタンバイ状態にすると表示部左のBluetooth STANDBYインジケーターが橙色に点灯します。この状態でBluetooth対応機器からBluetooth接続すると、本機の電源が入り、入力が「Bluetooth」になります。

ペアリング情報を削除する

本機に登録されたすべてのペアリング情報を削除します。Bluetooth機能が正常に動作しなくなった場合にのみ行ってください。

■ 電源がONの状態で

1. リモコンのBluetoothボタン①または本体のBluetoothボタンを押して、入力をBluetoothに切り換える

2. メニューボタン②を押す

3. ▲/▼ボタン③を(くり返し)押して「Reset BT?」を表示させる

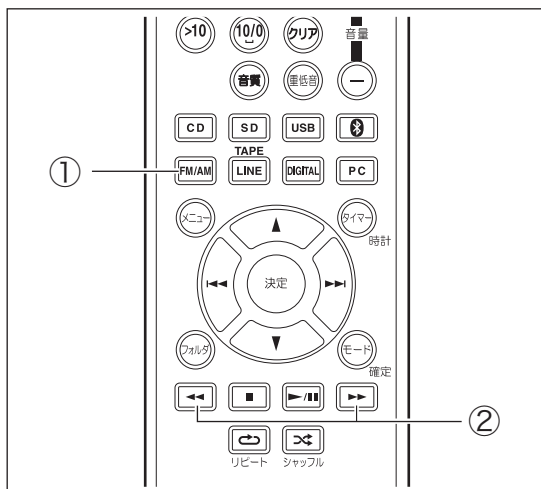
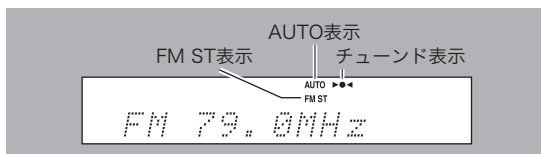
4. 決定ボタン④を押す

再確認のために、「Reset BT??」(本当にリセットしますか？)が表示されますので、もう一度決定ボタン④を押します。

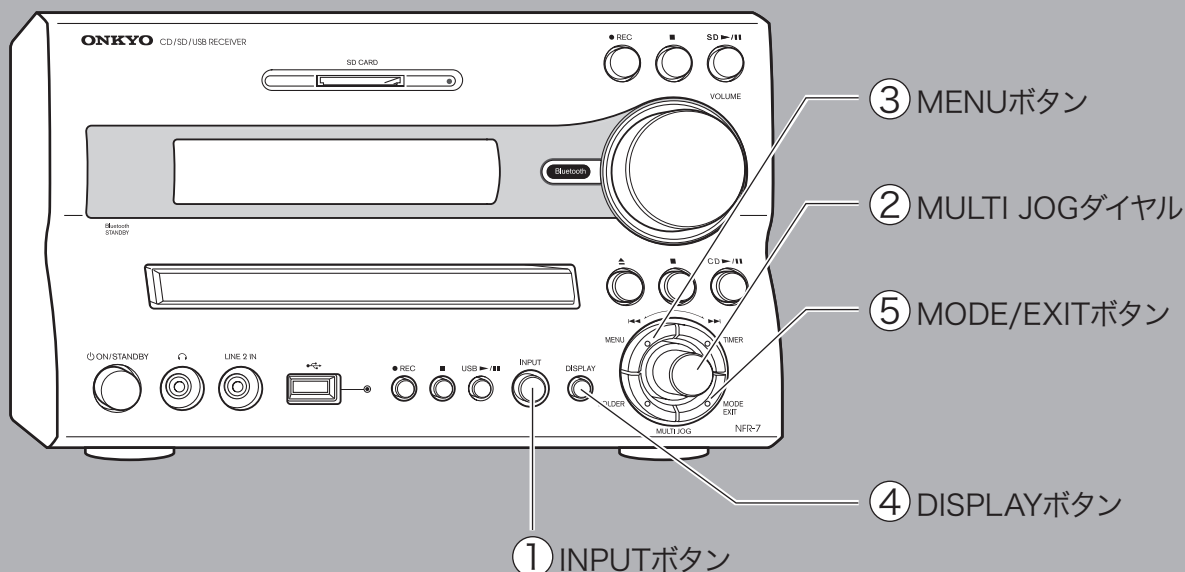
ペアリング情報がすべて消えましたので、改めてペアリングを行ってください。このとき、本機が自動的にペアリングモードになることがあります。

FM/AM放送を聞く

周波数を合わせて聞く

リモコンのみで操作できます。

放送局を受信するとチューンド表示(▶●◀)が点灯します。FMステレオ局を受信すると、FM ST 表示が点灯します。

■ 電源がONの状態で

1. 入力をFMまたはAMにする
FM/AMボタン①を押して、FMまたはAMを選びます。

2. ◀◀/▶▶ボタン②を押して、表示部をみながら周波数を合わせる
1回押すごとに周波数がFMでは0.1MHz、AMでは9kHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。◀◀または▶▶ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり(下がり)、放送局があると自動的に停止します。

放送局を登録する

自動で登録するーオートプリセットー(FMのみ)

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局ができます。受信から登録まで、自動(オート)で行えます。AM局は自動で登録できませんので手動で周波数を合わせて選局します。(➔**P.47**)

- すでにFM局を登録してある場合、オートプリセットを行うと、放送局が上書き登録されます。新たに登録された放送局数が以前に登録された放送局数より少ない場合、上書きされなかった放送局は登録されたままになります。

■ 電源がONの状態で

1. INPUTボタン①を(くり返し)押して「FM」を表示させる

受信バンドが「AM」になっている場合は、MULTI JOGダイヤル②を押して「FM」を表示させてください。
MULTI JOGダイヤルを押すたびにFMとAMが交互に切り換わります。

- **リモコンでは**:FM/AMボタンを(くり返し)押します。

AUTO ►●◄
FM ST
FM 79.0MHz

2. MENUボタン③を押した後、MULTI JOGダイヤル②を回して「Auto Preset?」を表示させる

3. MULTI JOGダイヤル②を押す

再確認のため、「Auto Preset??」が表示されます。中断するときはMENUボタン③を押してください。

4. もう一度MULTI JOGダイヤル②を押す

オートプリセットが始まります。周波数の低い順から自動的に最大15局まで登録していきます。

お使いの場所によっては、放送局でないノイズなどが登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください(➔**P.50**)。

FM/AM放送を聞く

1局ずつ登録する−プリセットライト−

AM局は周波数を手動で合わせて、1局ずつ登録します。(FMは、この方法と自動で登録する方法「オートプリセット」があります。)

- FM、AMそれぞれ15チャンネルずつ登録できます。
- 1局ずつ登録する場合は、1から15までのお好みのチャンネル番号に登録することが可能です。

■ 電源がONの状態で

1. 登録したい放送局を受信する**(➔P.47)**

2. MENUボタン③を押した後、MULTI JOGダイヤル②を回して「Preset Write >」を表示させる

- **リモコンでは**:メニューボタンを押した後、▲/▼ボタンを(くり返し)押します。

Preset Write>

3. MULTI JOGダイヤル②を押す

- **リモコンでは**:決定ボタンを押します。

AM 810kHz 1

登録するチャンネル番号が点滅します。
MULTI JOGダイヤル②を回してチャンネル番号を選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。

- **登録を中断するときは**:MENUボタン③を押します。

AM 810kHz 4

- チャンネルが登録されると、番号が点灯します。

● **放送局を追加登録するときは**:手順1〜3をくり返してください。

登録した放送局を聞く

あらかじめ放送局を登録しておいてください。(**➔P.48、49**)

■ 電源がONの状態で

1. INPUTボタン①を(くり返し)押して聞きたいバンドを選ぶ

MULTI JOGダイヤル②を押してFM/AMを切り換えることもできます。

- **リモコンでは**:FM/AMボタンを(くり返し)押します。

2. MULTI JOGダイヤル②を回して登録した放送局を選ぶ

- **リモコンでは**:⏮/⏭ボタンを押す。
  - 数字ボタンを使用することもできます。
    数字ボタンで10より大きな番号を選ぶ場合は＞10ボタンを押した後、2桁の数字ボタンを押します。
    使用例:＞10ボタン、1ボタン、5ボタンの順に押すと、15を選択します。

● **表示部の情報を切り換えるには**:DISPLAYボタン④またはリモコンの表示切換ボタンを押すと、以下のように情報を切り換えることができます。

FM/AM 周波数 ↔ 放送局につけた名前

- 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name」が表示されます。

FM放送を受信しにくいときは

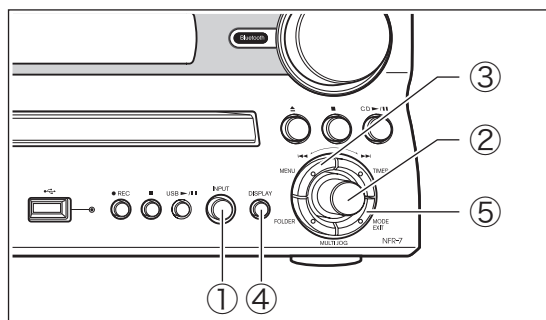
電波の弱い所や雑音の多い所ではリモコンのモード/確定ボタンを押し、AUTOの表示を消してモノラル受信にしてください。雑音や音切れを軽減できます。

モノラル受信時の表示

AUTOにもどすときは、同じボタンを再度押します。
通常は、AUTOにしておいてください。自動的にFMステレオ受信となります。

AUTO(ステレオ)受信時の表示

AUTO
FM ST
FM 79.0MHz 1

登録した放送局を編集する

不要な放送局を削除したり、登録された放送局に名前をつけることができます。

登録した放送局を削除する

1. FMまたはAMの削除したいチャンネルを呼び出す (➔P.49)

2. MENUボタン③を押した後、MULTI JOGダイヤル②を回し「Preset Erase?」を表示させる

Preset Erase?

3. MULTI JOGダイヤル②を押す

「Erase OK?」と再確認のメッセージが表示されます。削除をやめるときは、MENUボタン③を押します。
もう一度MULTI JOGダイヤル②を押すと、登録した放送局が削除されます。

登録した放送局に名前をつける

FMやAMの登録した放送局には放送局名などを、アルファベットやカタカナでつけることができます。
放送局には12文字までの名前がつけられます。

文字入力モードに入る

■ FMまたはAMの名前をつけたいチャンネルを選び

1. MENUボタン③を押した後、MULTI JOGダイヤル②を回して「Name Input >」を表示させる

- **リモコンでは**：メニューボタンを押して、▲/▼ボタンを押します。

Name Input >

2. MULTI JOGダイヤル②を押すと、文字入力モードに入ります。

- **リモコンでは**：決定ボタンを押します。

文字を入力する

■ 文字入力モードで

1. DISPLAYボタン④を（くり返し）押して入力する文字の種類を選ぶ

- **リモコンでは**：表示切換ボタンを（くり返し）押します。
  ボタンを押すたびに文字の種類が以下の順に切り換わります。
  - A（大文字のアルファベット）
  - a（小文字のアルファベット）
  - 1（数字）
  - ア（カタカナ）

文字の種類の表示

2. MULTI JOGダイヤル②を回して文字を選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定する

この手順をくり返して名前を入力します。途中で文字の種類を変える場合は、手順1 を行います。

- **リモコンでは**：▲/▼ボタンを（くり返し）押して文字を選び、決定ボタンを押します。
- 入力できる文字の一覧については「文字入力用ボタン一覧」（**➔P.51**）をご覧ください。

3. 入力が終わったら、MODE/EXITボタン⑤を押す

- **リモコンでは**：モード/確定ボタンを押します。

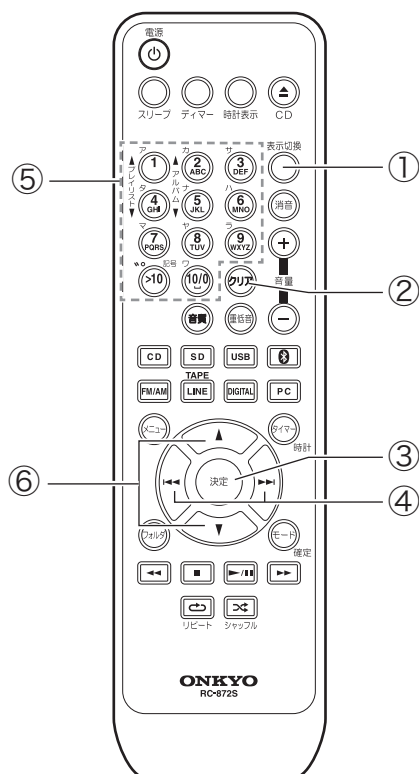
「Complete」と表示された後、文字入力が完了します。
名前の入力を途中でやめるときはMENUボタン③を2秒以上押します。

● **入力した文字を訂正するには**：リモコンの⏮/⏭ボタンを押して、訂正する文字を点滅させ、正しい文字を入力してください。

● **入力した文字を消去するには**：リモコンの⏮/⏭ボタンを押して、消去する文字を点滅させ、MENUボタン③またはリモコンのクリアボタンを押してください。

● **文字入力を中断するには**：MENUボタン③またはリモコンのメニューボタンを2秒以上押してください。

FM/AM放送を聞く

リモコンで文字を入力する

① **表示切換ボタン**:入力する文字の種類を選びます。
押すたびに、以下の文字種が選択できます。
- A(大文字のアルファベット)
- a(小文字のアルファベット)
- 1(数字)
- ア(カタカナ)

② **クリアボタン**:文字を消去するときに使用します。

③ **決定ボタン**:選択した内容を決定します。

④ **⏮/⏭ボタン**:文字入力のカーソルを左右に移動させます。

⑤ **数字ボタン**:文字を入力するときに使用します。
押すごとに文字が切り換わり表示されます。
- **アルファベットを入力するには**:数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字が切り換わり表示されます。たとえば、2ボタンは押すごとに「A→B→C→2→A」と切り換わりますので、希望の文字を表示させて決定ボタンを押してください。
- **数字を入力するには**:数字ボタンを押すと数字が表示されます。
- **カタカナを入力するには**:数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。たとえば、1ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させて決定ボタンを押してください。
- **記号やスペースを入力するには**:>10ボタンは押すごとに「, . " : ー & ( ) [ ]」と切り換わります。また、スペースを入力するには10/0ボタンを押します。

⑥ **▲/▼ボタン**:文字を選ぶときに使用します。
押すごとに文字が切り換わり表示されます。

文字入力用ボタン一覧

ボタン	A (大文字のアルファベット)	a (小文字のアルファベット)	1 (数字)	ア (カタカナ)
ア 1	. / ー 1	. / ー 1	1	アイウエオァィゥェォ 1
カ 2 ABC	A B C 2	a b c 2	2	カキクケコ 2
サ 3 DEF	D E F 3	d e f 3	3	サシスセソ 3
タ 4 GHI	G H I 4	g h i 4	4	タチツテトッ 4
ナ 5 JKL	J K L 5	j k l 5	5	ナニヌネノ 5
ハ 6 MNO	M N O 6	m n o 6	6	ハヒフヘホ 6
マ 7 PQRS	P Q R S 7	p q r s 7	7	マミムメモ 7
ヤ 8 TUV	T U V 8	t u v 8	8	ヤユヨャュョ 8
ラ 9 WXYZ	W X Y Z 9	w x y z 9	9	ラリルレロ 9
ワ 10/0	␣ 0	␣ 0	0	␣ ワヲンー 0
゛゜ 記号 >10	, . ' : ー & ( ) [ ]	, . ' : ー & ( ) [ ]	, . ' : ー & ( ) [ ]	゛ ゜ , . ' : ー & ( ) [ ]
▲/▼	すべての大文字アルファベット ␣	すべての小文字アルファベット ␣	すべての数字と記号※	すべてのカタカナ ␣ ゜゛

※入力中の文字の種類が1(数字)のとき、▲/▼ボタンで数字と次の記号を選ぶことができます。
, . ' : ー & ( ) [ ] < > _ ; @ # ¥ $ % ! ? ＋ ＊ / ＝ 〜 α μ ² ³ " ・ 、 。␣

- ␣は空白を表します。

タイマー機能について

タイマーによる動作の種類

- Sleepタイマー：指定した時間が経過すると、再生が停止し、本機の電源がスタンバイ状態になります。
- タイマーPlay（再生）：設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマーRec（録音）：設定した時間になると選択した機器への録音を始めます。
- タイマーRecは本機に挿入したSDカードまたはUSBメモリーに録音します。

再生機器の設定

本機のFM/AM放送、CD、SD、USBまたは、本機に接続しているオンキヨー製カセットテープデッキなど、RI端子のあるオンキヨー製機器が選択できます。（表示名称を正しく設定する必要があります。(➔P.64)）
タイマーRec（録音）はFM、AM、LINE1、LINE2またはTAPEから選択して録音できます。

設定できるタイマーの個数

タイマーはTimer1からTimer4までの4つを設定することができます。

動作回数の設定

タイマーは1回だけ働く「Onceタイマー」、毎日設定した時間に働く「Everydayタイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Everyタイマー」があります。

例）

項目	設定内容
Timer1	毎朝の目覚ましがわりに タイマーPlay(再生)ーEveryday(毎日)ー 7:00〜7:30
Timer2	毎週月曜から土曜のラジオ放送を録音 タイマーRec(録音)ーEveryー MON(月曜日)〜SAT(土曜日)ー 15:10〜15:30
Timer3	今週の日曜だけラジオ放送を録音 タイマーRec(録音)ーOnceー SUN(日曜日)ー 10:00〜12:00

タイマー表示について

タイマーが1つでも設定されていると、表示が点灯し、そのタイマー番号が点灯します。

- タイマーの再生中や録音中に、現在時刻や終了時刻などの設定を変更しないでください。タイマーが正常に動作しないことがあります。
- 本機に接続した機器のタイマー予約をするときは接続を確実に行ってください。接続が不完全だとタイマーplay（再生）やタイマーRec（録音）はできません。

タイマー予約の時間が重なった場合

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合は、開始時刻が早いタイマーが優先されます。また、開始時刻が同じ場合はタイマー番号が小さい方が優先されます。

例）1

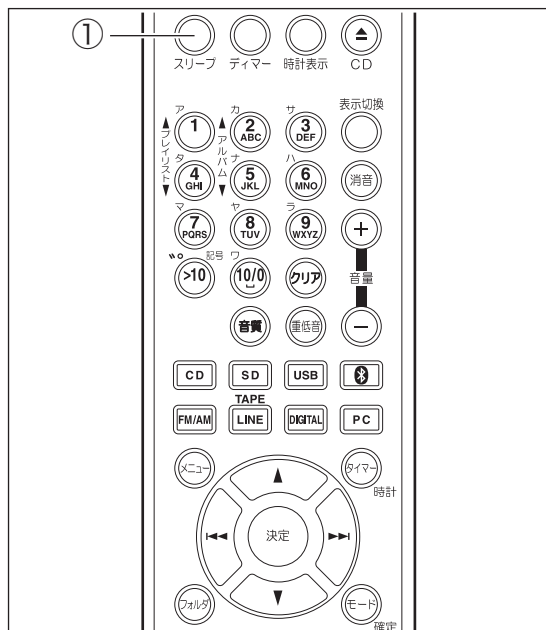
項目	設定内容
Timer1	9:00 ー 10:00
Timer2	8:00 ー 10:00 優先(タイマー開始時刻が早い方)

例）2

項目	設定内容
Timer3	12:00 ー 13:00 優先(タイマー番号が小さい方)
Timer4	12:00 ー 12:30

ご注意：タイマー予約をする場合は、事前に本機の現在時刻の設定が必要です(➔P.19)。

タイマー機能の設定・操作

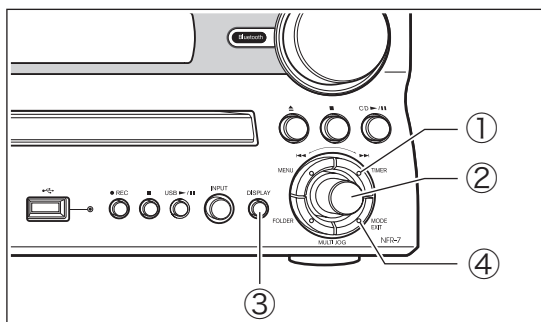
Sleepタイマーを使う（リモコンでの操作のみ）

スリープボタン①を押す
スリープボタン①を押せば「SLEEP」表示が点灯し、表示部には「Sleep 90」と表示され、90分後に電源が切れる設定になります。ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。

設定した時間が約8秒間表示された後、元の表示に戻ります。

- Sleepタイマーの動作中は、表示部が少し暗くなります。

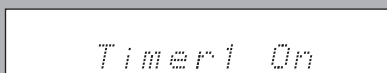
● **残り時間を確認するには**：スリープボタン①を押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びスリープボタンを押すとSleepタイマーは解除されます。

● **Sleepタイマーを解除するには**：「Sleep Off」の表示が出るまでスリープボタン①をくり返し押します。

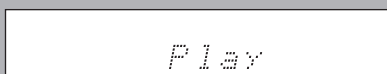
タイマーを予約する

タイマー予約をする場合は、本機の現在時刻の設定が必要です(➔**P.19**)。また、FM、AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。(➔**P.48、49**)

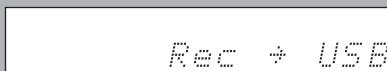
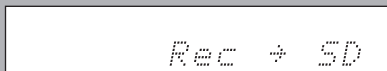
- 設定中60秒間何も操作しないと元の表示に戻ります。

1. タイマー番号の選択：TIMERボタン①を（くり返し）押してタイマーの番号を選ぶ
MULTI JOGダイヤルを回してOnを選び、MULTI JOGダイヤルを押してください。

Timer1 On

- 「Clock」しか表示されない場合は、時計が設定されていませんので、時計を設定してください。

2. タイマー種類の選択：MULTI JOGダイヤル②を回してタイマーPlay（再生）またはタイマーRec（録音）を選び、MULTI JOGダイヤルを押します。

● **タイマーPlayの場合**

● **タイマーRecの場合**：本機のSDカードやUSBメモリーに録音されます。

Rec → USB

タイマー機能の設定・操作

3. 再生機器の選択：MULTI JOGダイヤル②を回して再生する機器を選び、MULTI JOGダイヤルを押します。

- **タイマーPlayのときは**：CD、SD、USB、FM、AM、LINE1、LINE2、TAPE、DIGITAL1またはDIGITAL2から選べます。
- **タイマーRecのときは**：FM、AM、LINE1、LINE2またはTAPEの中から選べます。

ご注意：LINE1、LINE2、TAPEを選んでも、同端子に接続した外部機器を本機からは制御しません。タイマーオン時に入力をそのソースに切り換えるだけです。外部機器側のタイマーも併用し、本機のタイマーオンに合わせて再生を開始する必要があります。

F M

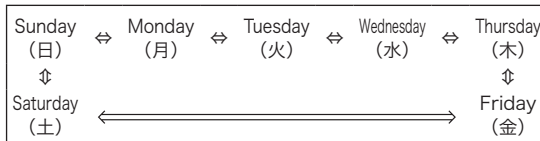
● **FMまたはAMを選んだ場合**：MULTI JOGダイヤル②を回して再生するプリセットチャンネルを表示し、希望のプリセットチャンネルが表示されたらMULTI JOGダイヤルを押します。

FM 87.5MHz 3

4. 曜日の設定：MULTI JOGダイヤル②を回して「Once」、「Everyday」または「Every」を選ぶ
「Once」を選ぶと一度だけ、「Everyday」を選ぶと毎日、「Every」を選ぶと毎週タイマーが働きます。選んだらMULTI JOGダイヤルを押します。

● **「Once」の場合**：設定した曜日に一度だけ働きます。

Sunday

MULTI JOGダイヤル②を回して、希望の曜日を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。
曜日は以下の順に表示されます。

● **「Everyday」の場合**：設定した時刻に毎日働きます。

Everyday

● **「Every」の場合**：設定した曜日に毎週働きます。

Mo (月)	Tu (火)	We (水)	Th (木)	Fr (金)	Sa (土)	Su (日)

MULTI JOGダイヤル②を回して設定したい曜日を選び、DISPLAYボタン③を押すと曜日のオン/オフを設定できます。「__ __」表示のとき、その曜日は選択されていません。曜日の設定を終えたらMULTI JOGダイヤルを押します。

- 複数の曜日を選択することができます。
- リモコンの⏮/⏭ボタンで曜日を選び、▲/▼ボタンで曜日のオン/オフを設定することができます。

タイマー機能の設定・操作

5. 開始時刻の設定：MULTI JOGダイヤル②を回してタイマー開始時刻を設定する
希望の時刻を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

On　　7:29

- 開始時刻（On）を変更すると、終了時刻（Off）は自動的にその1時間後になります。
- 本機のSDカードやUSBメモリーに録音するとき、タイマーオン後数秒間録音が開始されませんので、タイマー録音の開始時刻を1分ほど早めに設定されることをおすすめします。

6. 終了時刻の設定：MULTI JOGダイヤル②を回してタイマー終了時刻を設定する
希望の時刻を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

Off　8:29

7. 音量の設定：MULTI JOGダイヤル②を回してタイマーによる再生時の音量を設定する
設定する音量を表示させたら、MULTI JOGダイヤルを押します。

Volume 15

音量は、MULTI JOGダイヤル②を回してLast、Mute（タイマーRecのみ）、1、2、3、…、41、Maxから選び、MULTI JOGダイヤルを押して設定します。Last、Muteの動作は次の通りです。
- **Last**：最後に聞いた音量（スタンバイ状態にしたときの音量）になります。
- **Mute**：ミューティング機能が働いて音が消えます。（➔**P.21**）
ミューティングを解除すれば最後に聞いた音量になります。

8. スタンバイにする：電源をスタンバイ状態にする
ON/STANDBYボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。
- SD/USBのタイマー再生を行う場合やSD/USBにタイマー録音する場合は、SDカードやUSBメモリーを差したまま、電源をスタンバイ状態にしてください。
- 電源がオン状態のときは、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させるときには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマーで電源がオンになっている間に、時計設定やSleepタイマー設定、タイマー設定をしないでください。正常にタイマーが動作しなくなることがあります。

● **タイマー予約を途中で終えるときは**：MODE/EXITボタン④を押します。

リモコンのタイマー/時計ボタン、▲/▼ボタン、決定ボタンでも操作することができます。（➔**P.57**）

タイマー機能の設定・操作

タイマーのOn(実行)/Off(取消)を切り換える

予約したタイマーの実行を取り消したり、再び実行させたりできます。また、タイマーをOnに設定すると、予約したタイマーの設定内容を確認、変更することもできます。

1. TIMERボタン①を(くり返し)押してタイマー番号を表示させる

Timer1 On

- 上図は、タイマーがOnの場合です。「On」または「Off」が点滅して表示されます。

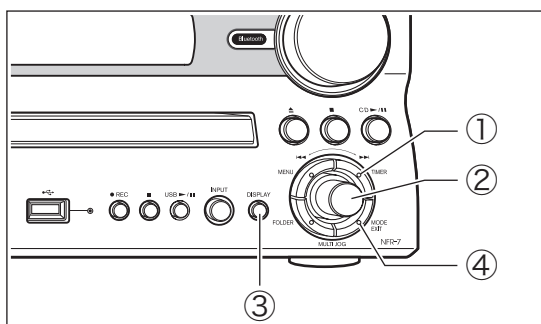
2. MULTI JOGダイヤル②を回して「On」または「Off」を選ぶ

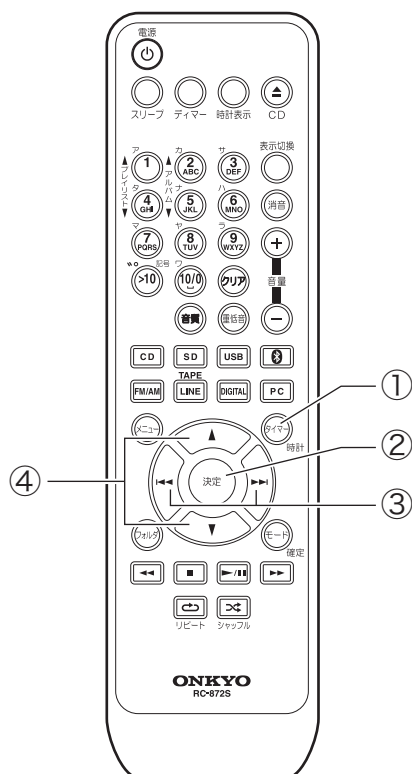
3. MULTI JOGダイヤル②を押して決定する

● **タイマーをOnに設定した場合**:タイマーの設定に入ります。設定内容を変更する必要がないときは、MODE/EXITボタン④を押すと、元の表示に戻ります。

● **タイマーをOffに設定した場合**:元の表示に戻ります。タイマーは動作しませんが、設定内容は保持されています。

● **タイマー設定の内容を確認、変更するには**:タイマーをOnに設定した状態で、MULTI JOGダイヤル②を(くり返し)押すと、設定内容を確認することができます。押すたびに、現在設定されている内容が順に表示されます。このときに、「タイマーを予約する」(➔**P.53**)の操作を行うことで、各設定内容を変更することもできます。

- 確認を途中でやめるときは、MODE/EXITボタン④を押します。

3. タイマー
タイマー機能の設定・操作

リモコンで操作する

① **タイマー/時計ボタン**：タイマー番号を選びます。

② **決定ボタン**：選択した内容を決定します。

③ **⏮/⏭ボタン**：Every設定の曜日を選びます。

④ **▲/▼ボタン**：設定の内容を選びます。

PCやテレビ、外部オーディオ機器との接続

本機は豊富な外部入出力端子を装備しています。PCと接続できるPC IN端子や、テレビやゲーム機などとの光デジタルケーブル接続が可能なDIGITAL IN端子など、いずれも外部機器の音声を高品位なサウンドでお楽しみいただくためのものです。また、後面パネルのRI端子を、デジタルメディアトランスポートなどのオンキヨー製オーディオ機器とRIケーブル接続することで機器間のシステム連動が可能になります。

入力切換機能について

外部機器の再生音を楽しむには、本体のINPUTボタン（またはリモコンの入力切換ボタン）を押して入力を選びます。CDを再生するときは入力ポジションが「CD」になっていますので、この後にDIGITAL IN 1端子につないだテレビの音を再生するためには、INPUTボタンを（くり返し）押して、「DIGITAL1」を表示させます。画面表示と接続端子の対応については、下記の対応表をご覧ください。

入力端子と入力ポジションの対応表

本体の表示	入力端子
LINE1	LINE 1 IN
LINE2	LINE 2 IN
TAPE	TAPE/MD IN
DIGITAL1	DIGITAL IN 1
DIGITAL2	DIGITAL IN 2
PC	PC IN

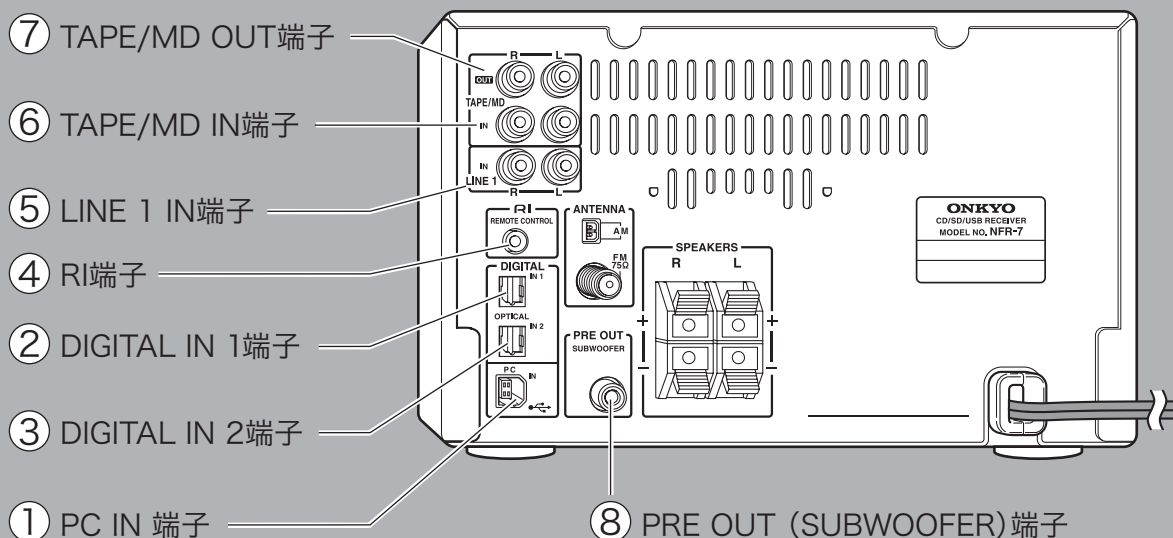
接続コードの種類について

本機には外部機器と接続するコードは付属していません。次項からの接続方法を確認いただき、必要なコードをご準備ください。

用途	ケーブルの形状 / 名称
PC との USB 接続は	USBケーブル（TypeA-TypeB）
光デジタル音声接続は	光デジタルケーブル（本機の端子は角型です。）
ポータブルオーディオ機器との接続は	ステレオミニプラグケーブル
アナログ音声接続は	オーディオ用ピンコード

接続の際のご注意

- 接続する外部機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。
- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

外部の機器を接続して再生する

PCとUSB接続する

PCの再生音を本機へデジタル伝送します。本機の高性能D/Aコンバーターでアナログ変換しますので、PC特有のノイズの影響を受けないピュアな再生音が楽しめます。

● **OSについて**：本機はWindows 8/7/Vista/XPで動作確認済みです。

接続する

使用するコード：USBケーブル（TypeA-TypeB）

1. **PCを起動する**
   USBケーブルは、まだ接続しないでください。
2. **本機の電源をオフにした状態で、USBケーブルをPC IN端子①に接続し、その後PCに接続する。**
3. **本機の電源をオンにして入力を「PC」にする**
   自動的にドライバがPCにインストールされ、本機が「USB speaker」として認識されます。

再生する

1. **PCを起動する**
2. **本機の電源をオンにする**
3. **本体のINPUTボタンを（くり返し）押して、表示部に「PC」を表示させる**
   - **リモコンでは**：PCボタンを押します。
4. **PC上で音楽再生ソフトなどを起動し再生する**
   - 本機から音楽再生ソフトなどの再生/一時停止、スキップなどの操作はできません。
   - 音量は本機で調整してください。
   - 音が小さかったり、音が出ないときは、音楽や動画再生ソフトの音量調整が小さいまたは消音状態になっていることがあります。調整して適切な音量にしてください。
   - それでも音が出ないときは、一度アプリケーションソフトを終了させて、再度起動させて再生してみてください。また、PCのサウンドデバイスで「USB speaker」が選ばれているかを確認してください。
   - PCのデバイス音量（マスタ音量）調整は無効になります。

テレビやゲーム機などと光デジタルで接続する

外部機器に光デジタル音声出力端子(OPTICAL)が装備されている場合、本機と光デジタル接続が可能です。

接続する

使用するコード:光デジタルケーブル(本機の端子は角型です。)

DIGITAL IN 1端子②またはDIGITAL IN 2端子③のどちらかを使用して外部機器の光デジタル出力端子と接続する

- 本機のDIGITAL IN端子は、とびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。また、光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

再生する

1. **外部機器の電源をオンにする**
2. **本体のINPUTボタンを(くり返し)押して、表示部に「DIGITAL1」(または「DIGITAL2」)を表示させる**
   - **リモコンでは**:DIGITALボタンを(くり返し)押します。
3. **外部機器を再生する**

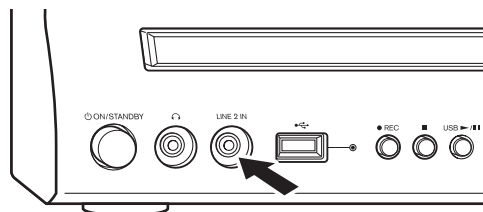
● **再生できないときは**:本機のDIGITAL入力はPCM信号のみに対応します。接続した機器のデジタル音声出力をPCMに設定してください。

ポータブルオーディオ機器を接続する

本機前面のLINE 2 IN端子はポータブルオーディオプレーヤーやICレコーダーなどを接続するのに便利です。

接続する

使用するコード:ステレオミニプラグケーブル(本機のLINE 2 IN端子はステレオミニジャックです。接続する機器の端子に適合した市販の接続ケーブルをお使いください。)

1. **前面パネルのLINE 2 IN端子とポータブルオーディオ機器の音声出力端子またはイヤホン端子を接続する**

- 接続用のケーブルには、抵抗入りではないものをご使用ください。
- LINE 2 IN端子へ接続する場合、となりの🎧端子へ誤って接続しないようご注意ください。間違って接続すると、故障の原因となります。

再生する

1. **本体のINPUTボタンを(くり返し)押して、表示部に「LINE2」を表示させる**
   - **リモコンでは**:LINEボタンを(くり返し)押します。
2. **ポータブルオーディオ機器を再生する**
   音量は本機で調整できますが、ポータブルオーディオ機器のヘッドホン出力から接続したときは、その機器の音量も適切に上げてください。

● **入力レベルの調整方法**:「LINE1」、「LINE2」、「TAPE」の音量が他のソースと比べてかなり差があるときは、次の方法で調整してください。

1. 調整したい入力(「LINE1」、「LINE2」、「TAPE」)に切り換える
2. リモコンのメニューボタンを押し▲/▼ボタンで「Input Level >」を選び、決定ボタンを押す
3. ▲/▼ボタンでレベル(-9〜+9)を調整し、決定ボタンを押す

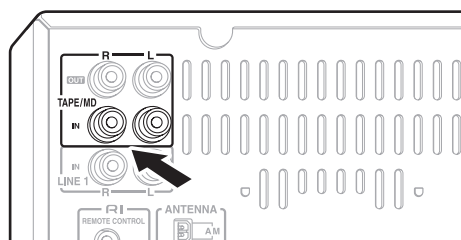
- 入力レベルは上げ過ぎないでください。録音の音が歪んだり、再生音が歪むことがあります。

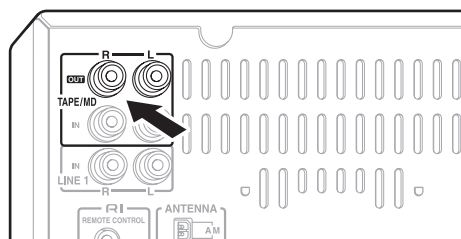
（オンキヨー製）カセットテープデッキなどの録再機器と接続する

RI端子付きのオンキヨー製カセットテープデッキと接続すると、入力の切り換えが自動で行われるなどのシステム連動が可能になります。（オンキヨー製のカセットテープデッキやMDデッキの販売は終了しています。）

接続する

使用するコード：オーディオ用ピンコード、RIケーブル

1. TAPE/MD IN端子⑥とカセットテープデッキの音声出力端子を接続する

- 白いプラグをL（左）、赤いプラグをR（右）に接続してください。

2. TAPE/MD OUT端子⑦とカセットテープデッキの音声入力端子を接続する

- 白いプラグをL（左）、赤いプラグをR（右）に接続してください。接続する機器がRI端子を装備している場合、RIケーブルで本機のRI端子④と接続してください。
- TAPE入力の表示名称を「TAPE」にする必要があります。（お買い上げ時の設定は「TAPE」ですので、そのままお使いください。）（➔**P.64**）

再生する

1. 本体のINPUTボタンを（くり返し）押して、表示部に「TAPE」を表示させる
- **リモコンでは**：LINEボタンを（くり返し）押します。

2. テープデッキ等の機器を再生する

● 入力レベルの調整方法：「LINE1」、「LINE2」、「TAPE」の音量が他のソースと比べてかなり差があるときは、次の方法で調整してください。

1. 調整したい入力（「LINE1」、「LINE2」、「TAPE」）に切り換える
2. リモコンのメニューボタンを押し▲/▼ボタンで「Input Level ＞」を選び、決定ボタンを押す
3. ▲/▼ボタンでレベル（-9～+9）を調整し、決定ボタンを押す

- 入力レベルは上げ過ぎないでください。録音の音が歪んだり、再生音が歪むことがあります。

テレビやレコードプレーヤーと接続する

アナログ出力のテレビなどを接続できます。また、本機には「フォノイコライザー回路」が内蔵されていませんので、レコードプレーヤーと本機との間に「フォノイコライザー」の接続が必要です。レコードプレーヤーにフォノイコライザーを内蔵しているタイプもあります。レコードプレーヤーの取扱説明書などを参照のうえお調べください。また、レコードプレーヤーのカートリッジにはMM型とMC型があります。それぞれに適したフォノイコライザーが必要です。

接続する

使用するコード：オーディオ用ピンコード

LINE 1 IN端子⑤と外部機器の音声出力端子を接続する

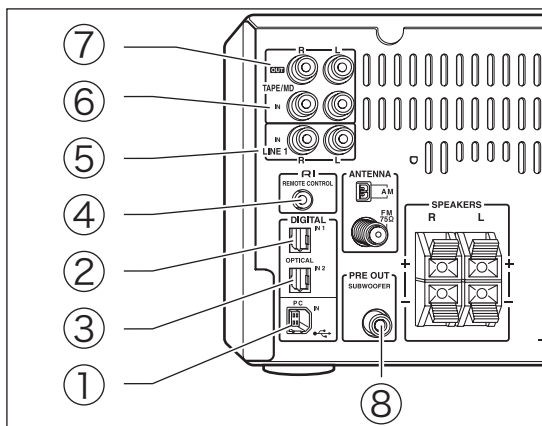
再生する

1. 本体のINPUTボタンを（くり返し）押して、表示部に「LINE1」を表示させる
- **リモコンでは**：LINEボタンを押します。

2. 外部機器を再生する

● 入力レベルの調整方法：「LINE1」、「LINE2」、「TAPE」の音量が他のソースと比べてかなり差があるときは、次の方法で調整してください。

1. 調整したい入力（「LINE1」、「LINE2」、「TAPE」）に切り換える
2. リモコンのメニューボタンを押し▲/▼ボタンで「Input Level ＞」を選び、決定ボタンを押す
3. ▲/▼ボタンでレベル（-9～+9）を調整し、決定ボタンを押す

- 入力レベルは上げ過ぎないでください。録音の音が歪んだり、再生音が歪むことがあります。

サブウーファーを接続する

本機はサブウーファー用のPRE OUT端子を装備しています。アンプ内蔵型のサブウーファー(アクティブサブウーファー)を接続すると、重低音を増強することができます。本機のPRE OUT(SUBWOOFER)端子⑧とサブウーファーの入力端子を接続してください。

デジタルメディアトランスポート(ND-S＊＊シリーズ)、AirPlayオーディオレシーバー(DS-A5)を接続する

オンキヨー製デジタルメディアトランスポートやAirPlayオーディオレシーバーとの接続で、iPodの音声を本機にデジタル伝送できます。本機のリモコンでND-S＊＊やDS-A5にセットしたiPodを操作でき、iPodの再生を始めると本機の入力が自動的に切り換わります。

- iPodの世代やバージョンによっては、正常にリモコンでの操作ができない場合があります。

接続する

使用するコード:光デジタルケーブル、RIケーブル

1. **DIGITAL IN 1端子②を使用して、光デジタルケーブルでND-S＊＊/DS-A5のDIGITAL OUT端子と接続する**
   - DIGITAL IN 1端子②のみ対応しています。DIGITAL IN 2端子③に接続すると、RIによる連動ができません。
2. **RI端子④とND-S＊＊/DS-A5のRI端子をRIケーブルで接続してください。**
   - ND-S＊＊/DS-A5の取扱説明書をご覧ください。
   - 「DIGITAL1」の表示名称を「DOCK/dig」にする必要があります(➔P.64)。
   - ND-S＊＊/DS-A5とRIドックを同時にRIケーブルで接続して連動させることはできません。ND-S＊＊/DS-A5を接続するときは、RIドックのRIケーブルをはずしてください。

RIドック(DS-A＊＊シリーズ)を接続する

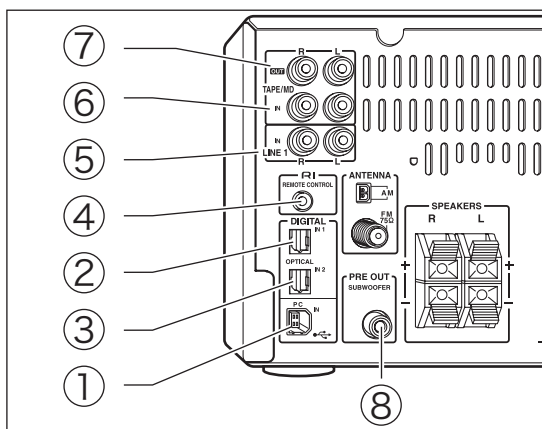
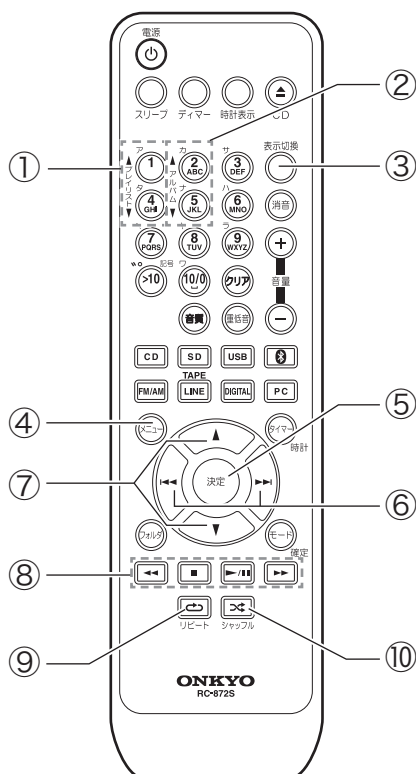
オンキヨー製RIドックとの接続で、iPod等の音声を本機で再生できます。
本機のリモコンでDS-A＊＊にセットしたiPodを操作できます(➔P.63)。また、DS-A＊＊にセットしたiPodの再生を始めると、本機の入力が自動的に切り換わります。

- iPodの世代やバージョンによっては、正常にリモコンでの操作ができない場合があります。

接続する

使用するコード:オーディオ用ピンコード、RIケーブル

- DS-A5をアナログ音声出力で接続することもできます。その場合は、以下の方法で接続してください。

1. **LINE 1 IN端子⑤を使用して、オーディオ用ピンコードでDS-A＊＊の音声出力端子と接続する**
2. **RI端子④とDS-A＊＊のRI端子をRIケーブルで接続する**
   - 詳しくはDS-A＊＊の取扱説明書をご覧ください。
   - 「LINE1」の表示名称を「DOCK」にする必要があります(➔P.64)。また、RIドックのMODEスイッチを「HDD/DOCK」または「DOCK」にしてください。
   - DS-A＊＊とデジタルメディアトランスポートを同時にRIケーブルで接続して連動させることはできません。DS-A＊＊を接続するときは、ND-S＊＊のRIケーブルをはずしてください。

iPodを本機のリモコンで操作する

DIGITAL IN 1端子にデジタルメディアトランスポート(ND-S＊＊シリーズ)を接続した場合、またはLINE 1 IN端子にRIドック(DS-A＊＊シリーズ)を接続した場合に使用できるボタンについて説明します。

① **プレイリスト▲/▼ボタン**:iPodのプレイリストを選びます。

② **アルバム▲/▼ボタン**:iPodのアルバムを選びます。

③ **表示切換ボタン**:iPodのバックライトを30秒間点灯させます。

④ **メニューボタン**:iPodのメニュー操作に入ります。

⑤ **決定ボタン**:iPodのメニュー項目を決定します。

⑥ **⏮/⏭ボタン**:iPodの前後の曲を選びます。

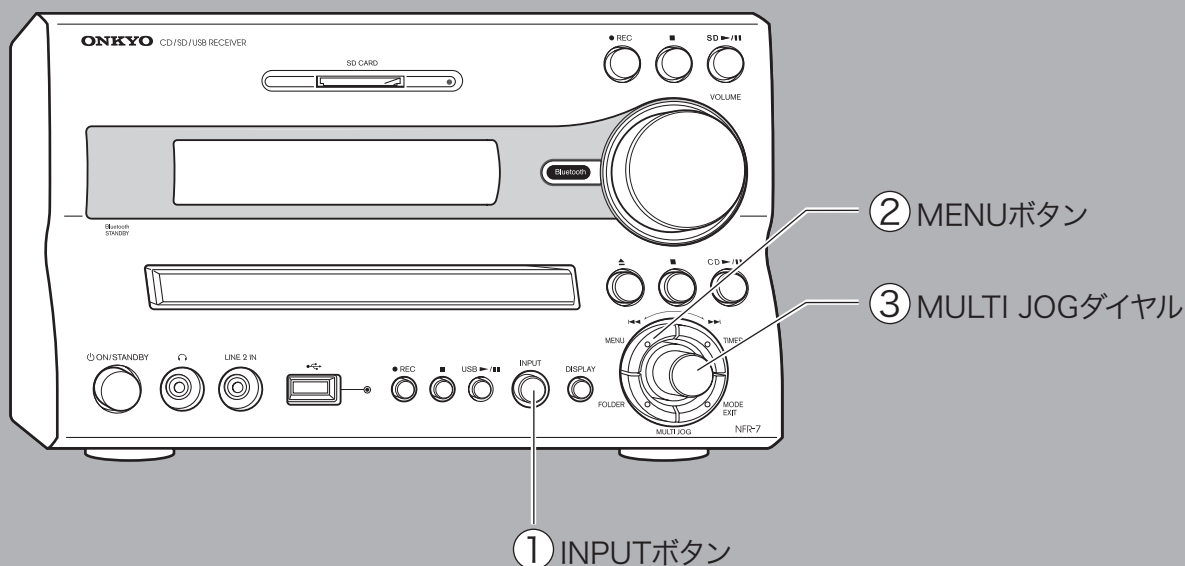
⑦ **▲/▼ボタン**:iPodのメニュー項目を移動させます。

⑧ **操作ボタン**:iPodの操作に使用します。
- ◀◀/▶▶ボタン:iPodの再生中の曲を早送り、早戻しします。
- ■ボタン:iPodを一時停止します。
- ►/❙❙ボタン:iPodを再生させます。再生中に押すと、一時停止させます。

⑨ **ボタン**:iPodのリピートを切り換えます。

⑩ **ボタン**:iPodのシャッフルを切り換えます。

> **ご注意:**iPod/iPhone/iPadの世代、バージョンあるいは再生するコンテンツによっては、一部の機能が動作しないことがあります。

接続した機器の表示名称を変える

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合(➔P.61)、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力表示を切り換える必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。

- DOCK/digとDOCKを同時に設定することはできません。同時に設定しようとすると、他方がDOCK/digならDIGITAL1に、DOCKならLINE1に自動的に切り換わります。
- ND-S＊＊を接続しているとき(➔P.62)はDIGITAL1をDOCK/digに、RIドックを接続しているとき(➔P.62)はLINE1をDOCKに設定します。

■ 電源がONの状態で

1. INPUTボタン①を(くり返し)押して名称を変える外部入力を選ぶ

LINE1、LINE2、TAPE、DIGITAL1、DIGITAL2から選べます。

2. MENUボタン②を押した後、MULTI JOGダイヤル③を回して「Name Select >」を表示させる

```
Name Select >
```

3. MULTI JOGダイヤル③を押す

4. MULTI JOGダイヤル③を回して名称を選ぶ

- **途中で変更をやめる場合は**：MENUボタン②を押します。

ダイヤルを回すたびに、以下の順序で名称が変わります。

入力がLINE 1の場合

「LINE 1」→「DOCK」→「＊＊＊＊」→「LINE 1」(以降くり返し)

入力がLINE2の場合

「LINE 2」→「＊＊＊＊」→「LINE 2」(以降くり返し)

入力がTAPEの場合

「TAPE」→「MD」→「＊＊＊＊」→「TAPE」(以降くり返し)

入力がDIGITAL 1の場合

「DIGITAL 1」→「DOCK/dig」→「＊＊＊＊」→「DIGITAL 1」(以降くり返し)

入力がDIGITAL 2の場合

「DIGITAL 2」→「TV」→「＊＊＊＊」→「DIGITAL 2」(以降くり返し)

- 「＊＊＊＊」は、「Name Input >」で入力した名前です。
- Name Inputについては、50ページの文字入力の説明を参照して、それぞれの入力で名前を入れてください。

5. MULTI JOGダイヤル③を押して決定する

入力の表示名称がDOCKまたはDOCK/digのときは、リモコンのメニューボタンはドックに接続したiPod/iPhone/iPadのMENUボタンとして機能します。本機のメニューを操作するときは、本体のMENUボタンで操作してください。

製品の取り扱いについて

お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書などをお読みください。
スピーカーのグリルネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るかブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

ブラウン管テレビとの近接使用について

付属のスピーカー(D-NFR7)は(社)電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、ブラウン管テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度ブラウン管テレビの電源を切り、15分〜30分後に再びスイッチを入れてください。ブラウン管テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをブラウン管テレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、ブラウン管テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

付属のスピーカーのツィーターには強力な磁石を採用していますので、ドライバーや鉄等の磁性体、磁気カード等をスピーカー前面に近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

取り扱い上のご注意

付属のスピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

1. FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
2. 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
3. オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
4. マイク使用時のハウリング
5. テープレコーダーを早送りしたときの音
6. アンプが発振しているとき
7. ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、電源コードを抜き、3時間以上室温で放置してからご使用ください。

CD(音楽CD、MP3、WMA)について

再生上のご注意

CD(コンパクトディスク)はディスクラベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。

パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

※本機はCD-R、CD-RWに対応しています。

ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、オーディオ用CDレコーダーで録音した場合、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの再生について

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

CD Extraの音楽CDの再生について

本機では、音楽データのみ再生することができます。

MP3、WMAディスクの再生について

本機はCD-R/CD-RWに記録したMP3、WMAファイルを再生することができます。

- ISO9660レベル2のファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。(ただし、対応している階層はISO9660レベル1と同じ8階層までです。)
- Windows 8/7/Vistaの機能でCDを書き込むと、ファイルシステムはUDFになります。本機では正常に再生できないことがありますので、別途CDライティングソフトを用意し、ファイルシステムにISO9660/Jolietを選んで書き込んでください。
- フォルダ数は最大119、ファイル数は最大999まで認識・再生することができます。
- ディスクはクローズしてください。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したディスクを再生できないことがあります。(原因:ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)
- パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)
- データ容量が小さすぎるディスクは再生できないことがあります。

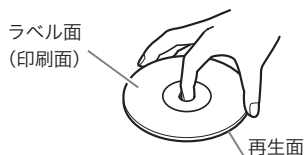
MP3ディスクの再生について

- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1 オーディオレイヤー3(32-320kbps)のサンプリング周波数32/44.1/48kHzで記録されたファイルに対応しています。
- 32kbpsから320kbpsの可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- 一部のMP3ファイルは、本機では正常に早戻し/早送りができないことがあります。

WMAディスクの再生について

- WMAは「Windows Media® Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。
- 「.wma」、「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 32kbpsから320kbps(32/44.1/48kHz)の可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- 著作権保護されたWMAファイルは再生できません。
- WMA Pro、LosslessおよびVoiceには対応していません。
- Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 一部のWMAファイルは、本機では正常に早戻し/早送りができないことがあります。

取り扱いについて

再生面(印刷されていない面)に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんラベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などをつけないようにしてください。

CD（音楽CD、MP3、WMA）について

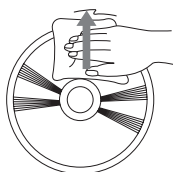
レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

インクジェットプリンター対応CD-R/CD-RWの注意について

プリンターでラベル面への印刷が可能なCD-R/CD-RWを本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となる恐れがあります。
必要なとき以外はディスクを入れたままにしないで、ケースに保管してください。なお、印刷直後のディスクは貼り付きやすいので、使用しないでください。

CDのお手入れについて

汚れにより信号が読み取りにくくなり、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

困ったときは

まず以下に示す項目で点検してみてください。接続した他の機器に原因がある場合もあります。他の機器の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

修理を依頼される前に

本機が正常に動作しなくなったり、操作ができなくなったときに、本機のマイコンをリセットすることで、問題が解消することがあります。修理を依頼される前に、下記の手順でマイコンをリセットしてみてください。

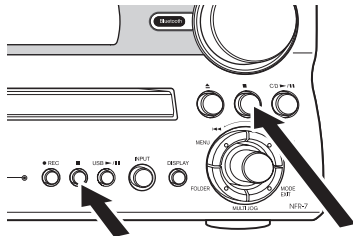
マイコンのリセットについて

すべての内容がお買い上げ時の設定に戻ります。

■ 電源がONの状態で

1. 入力をLINE1に切り換える
(表示名称を変更している場合は、その入力に切り換える)

2. USB側の■ボタン①を押す

3. 次にCD側の■ボタン②を3秒以上押し続ける

4. 「Reset」と表示されたら、電源コードを抜く

5. 10秒以上待ってから、電源コードを再び差し込む

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中で切れる

- 表示部にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。(➔**P.53**)
- タイマーPlay(再生)、タイマーRec(録音)(➔**P.53**)は終了時刻になるとスタンバイになります。
- 電源が切れ、再度電源を入れても切れるときは、保護回路が働いています。スピーカーコードの芯線部の⊕、⊖が接触していないか確認してください。

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？
- スピーカーコードの芯線は本体の接続端子に確実に接続されていますか？(➔**P.14**)
- ボリュームのレベルが小さすぎませんか?
- INPUTは正しく選択されていますか？
- MUTING表示が点滅している場合、ミューティング機能が働いていますので、リモコンの消音ボタンを押して解除してください。(➔**P.21**)
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。(➔**P.22**)

音が良くない/雑音が入る

- スピーカーコードの⊕/⊖が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーを本体のL端子、右側のスピーカーをR端子に接続してください。(➔**P.14**)
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中にCDを読み取る音が聞こえる場合があります。

LINE IN端子に接続した機器の音声が出ない、録音できない

- 🎧端子に間違って接続していませんか？

振動で音が途切れる

- 本機は据え置きタイプとして設計されています。できるだけ振動の少ない場所に設置してご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない/ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。(清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。)また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。
- となりのLINE 2 IN端子に誤って接続していませんか？

音質に関して

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。
- 電源投入後10～30分程度経過した方が音質は安定します。
- オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

困ったときは

CDに関して

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音飛びすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。

ディスクが入らない

- 一度電源プラグを抜いて、もう一度入れてください。
- ディスクの置く位置を確認してください。
- 異なるディスクを使用してみてください。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 何も録音されていないディスクが入っていませんか？録音されているディスクと取り換えてください。
- 結露していると思われる場合は、電源コードを抜き、3時間以上室温で放置してからご使用ください。(**➔P.65**)

ディスクの曲順通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。(**➔P.24、25**)

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「No Disc」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

FM/AM放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、「サー」というノイズが多い/オートプリセットで放送局が呼び出せない(FMのみ)/FM放送で「FM ST」表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。(**➔P.16**)
- アンテナの位置や方向を変えてみてください。(**➔P.17**)
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。(**➔P.49**)
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも受信状態がよくないときは、市販の室内アンテナまたは屋外アンテナの設置をおすすめします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

ラジオの周波数を調整できない

- リモコンのみの操作になります。リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して調整してください。(**➔P.47**)

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定し直してください。

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性(⊕、⊖)が、表示通り正しく入っているか確認してください。(**➔P.18**)
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。(種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください)
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光(インバータ蛍光灯や直射日光)が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアのガラスに色が付いていると、正常に動作しないことがあります。
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると、本機が誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

困ったときは

外部機器との接続に関して

オンキヨー製外部機器とのシステム動作が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。(➔**P.62**)
  なお、ND-S＊＊とDS-A5はRIケーブルのみの接続でシステム動作します。(➔**P.62**)
- 外部入力機器の表示名称を正しく設定してください。(➔**P.64**)

LINE1、LINE2、TAPEの録音の音が歪む

- レベル表示の赤色が点灯しないように、入力レベルを下げてください。(➔**P.60、61**)

接続したデジタル機器の音が出ない

- オーディオ用光デジタルケーブルが折れ曲がったり損傷していませんか？
- 本機はPCM信号にしか対応していません。接続した機器のデジタル音声出力をPCMに設定してください。

PCの音が出ない

- 本機の電源をオンにして入力をPCに切り換えてから、PC上の音楽再生ソフトを起動させてください。

入力がPCのとき、キーボードで音量調整できない

- PCのキーボード上の音量調整は無効になります。本機の音量で調整してください。

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か確認してください。
- 内蔵していないレコードプレーヤーの場合は、別途フォノイコライザーが必要です。
- レコードプレーヤーにMCカートリッジをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが別途必要です。

時計、タイマー再生・録音に関して

タイマー再生・録音しない

- 現在時刻は正しく設定されていますか？
  時計が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。現在時刻と年月日を設定してください。(➔**P.19**)
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーは動作しません。タイマー開始時刻前は必ず電源をスタンバイ状態にしてください。(➔**P.55** 手順8)
- タイマー予約の時間が重なっていると働かないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。(➔**P.52**)
- タイマーの再生音量は適切に設定しておいてください。(➔**P.55** 手順7)
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコード(ND-S＊＊とDS-A5は除く)の両方が正しく接続されているか確認してください。また、表示名称が正しく設定されているか確認してください。(➔**P.58、62、64**)
- タイマー録音するには録音可能なSDカードまたはUSBメモリーをセットしておく必要があります。
  また、本機のSDカードまたはUSBメモリーにタイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されませんので、録音開始時刻を1分ほど早めに設定することをおすすめします。

スタンバイ状態で時計表示が出ない

- スタンバイ時の時計表示を「あり」に設定してください。(➔**P.19**)

SDカード/USBメモリーの再生に関して

- USBマスストレージクラスでないiPod、ウォークマン、スマートフォンなどを本機のUSB端子に接続しても再生できません。
- ファイル名/フォルダ名/タイトル/アーティスト名/アルバム名に表示できない文字があるときは、「・」に置き換えて表示されます。ひらがなはカタカナに変換されて表示されます。
- USBハブには対応していません。
- 著作権保護されたWMAファイルは再生できません。
- 本機以外の機器で録音した一部のMP3/WMAファイルは、本機では正常に早戻し/早送りができないことがあります。
- VBRファイルのレジューム再生は、停止した時間ではなく、曲の頭から再生されることがあります。
- 対応するSDカードはSDHC(32GB)までです。
- 対応するファイルシステムはFAT16とFAT32のみです。

SDカード/USBメモリーの録音に関して

- SDカードやUSBメモリーによっては正常に録音できない場合があります。特にビットレートが高いWAVフォーマットで録音する場合は、ランダム書込速度の遅いSDカードやUSBメモリーは避けてください。事前に、録音するフォーマットでSDカードやUSBメモリーに正常に録音できることを確認されることをおすすめします。
- 正常に録音できなくなったSDカードやUSBメモリーは、パソコンでフォーマットすると正常に戻る場合があります。SDカードのフォーマットはSDフォーマッターをご使用ください。(➔**P.27**)
- 録音フォーマットは、WAVまたはMP3 256kbps/192kbps/128kbpsから選べます。(➔**P.33、42**)
- MP3、WMAが記録されたCDを録音する場合、高速で録音(コピー)します。
- CDからの録音時でランダム再生を設定しているときは、録音操作をすると、ランダム再生が解除され、1ディスク録音(➔**P.33、42**)が始まります。
- SDカードやUSBメモリーにはいろいろな種類、仕様があり、すべてのSDカードやUSBメモリーで動作を完全に保証することはできません。特に、小ブロック単位の書込速度の遅いSDカードやUSBメモリーは使用しないでください。

困ったときは

- セキュリティ機能付きのSDカードやUSBメモリーは使用できません。セキュリティ機能をはずし、通常のSDカードやUSBメモリーとして動作できる場合は使用できます。
- SD録音を終了すると、「SD Writing」と表示されます。この表示中はまだSDカードに書き込み中ですので、絶対にSDカードや電源コードを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- USB録音を終了すると、「USB Writing」と表示されます。この表示中はまだUSBメモリーに書き込み中ですので、絶対にUSBメモリーや電源コードを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

Bluetoothに関して

Bluetoothのペアリングができない

- 他にもBluetooth対応機器がある場合は、それらの電源を切って、ペアリングをやり直してください。
- Bluetooth対応機器側で、「Onkyo NFR-7」または「Onkyo NFR-9」の登録を削除したあと、再度ペアリングしてください。

Bluetoothの音が途切れる

- 無線LANの機器や電子レンジなどが近くにありませんか。なるべく、それらの機器から離してご使用ください。
- Bluetooth対応機器との距離が離れすぎていませんか。また、壁などで遮られていませんか。Bluetooth対応機器と本機の距離を近づけてご使用ください。

Bluetoothの音が映像より遅れる

- Bluetooth伝送の特性上、多少の信号遅延があります。そのため、Bluetooth対応機器上の再生映像に対し、本機での音声出力の遅れが気になる場合があります。

その他

停電になった

- 時計が止まり、すべてのタイマー設定が「オフ」になります。時計表示ボタンを押すと、「Adjust」と表示されます。あらためて時計を設定し直し、必要なタイマーを「オン」に設定してください。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害(CDレンタル料等)については補償対象になりません。大切な録音をするときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのようなときは、電源プラグを抜いて約10秒以上待ってからあらためて電源プラグを差してください。
それでも正常な動作に復帰しないときは、「マイコンのリセットについて」(➔**P.68**)を行ってください。

メッセージ一覧

ご使用の状況により、メッセージが表示されます。表示されるメッセージとそれぞれの意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
No Disc	CDが入っていない。
Complete	設定/編集が完了した。
Er-CD＊＊＊	CDの動作に異常がある。(電源を切って、再度入れてみてください。それでもエラー表示が出るときは、お近くの オンキヨー修理窓口にお問い合わせください。)
Full	ネーム入力中に文字数が最大値に達した。
Memory Full	25曲を超えてメモリーしようとした。
USB Full	録音中、USBメモリーのメモリー容量がいっぱいになった。
No File	再生できるファイルが存在しない。
No USB	USBメモリーが装着されていない。接続されたUSBデバイスが認識できない。(一度USBデバイスを抜いて、差し直してみてください。)
SD Full	録音中、SDカードのメモリー容量がいっぱいになった。
No SD	SDカードが装着されていない。接続されたSDカードが認識できない。(一度SDカードを抜いて、差し直してみてください。)
SD Locked	SDカードがロックされているため、録音、消去ができません。SDカードのロックを解除してから、操作してください。
Not Support	再生したファイルがWMA DRMであった場合。対応できないファイルを再生しようとした場合。
Not Record	録音メディアの書込速度が遅く、録音を中断しました。録音フォーマットをビットレートの低いMP3に設定するか、より高速の録音メディアに交換してください。音楽CDの録音開始後すぐにこのメッセージが出るときは、SCMSにより録音できません。
Error	SD/USB書き込み時にエラーが発生しました。

※＊＊＊には、数字や記号が入ります。

主な仕様

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

センターユニット部(NFR-7/NFR-9)

■ 総合

電源・電圧	AC 100V、50/60Hz
消費電力	55W 0.4W(待機時) 22W(無音時)
最大外形寸法	NFR-7: 215(幅)×142(高さ)×347(奥行)mm NFR-9: 215(幅)×142(高さ)×357(奥行)mm
質量	4.6kg
音声入力	デジタル DIGITAL 1/2(OPTICAL)、PC(USB TypeB) アナログ TAPE/MD、LINE 1、LINE 2
音声出力	アナログ TAPE/MD サブウーファープリアウト 1 スピーカー 2(Lch, Rch, 1系統) ヘッドホン 1

■ アンプ部

定格出力	19W+19W 4Ω(THD+N 0.4%以下、2ch駆動時 (同時駆動))
実用最大出力	26W+26W 4Ω、1kHz, 2ch駆動時 (同時駆動)
ダイナミックパワー	21W+21W (4Ω、2ch駆動時)
総合ひずみ率	0.4 %(1kHz 1W出力時) 0.4 %(20Hz〜20kHz 定格出力時)
ダンピングファクター	25(フロント、8Ω)
入力感度/インピーダンス	150mV/50kΩ(TAPE/MD、LINE 1) 150mV/25kΩ(LINE 2)
RCA定格出力電圧/インピーダンス	150mV/2.2kΩ
周波数特性	10Hz〜100kHz/±3dB
トーンコントロール最大変化量	±8dB、80Hz(BASS) ±10dB、10kHz(TREBLE) +3.5dB、80Hz(S.BASS 1) +7dB、80Hz(S.BASS 2)
SN比	100dB(IHF-A)
スピーカー適応インピーダンス	4Ω〜16Ω

■ FM/AMチューナー部

受信範囲	〈FM〉 76.0MHz〜90.0MHz 〈AM〉 522kHz〜1629kHz
プリセットチャンネル数	FM15局、AM15局

■ CD部

周波数特性	10Hz〜20kHz
ダイナミックレンジ	95dB
全高調波歪率	0.07%
ワウ・フラッター	測定値以下 (±0.001% (W.PEAK), EIAJ)
音声出力電圧/インピーダンス	1.3V(rms)/2.2kΩ(TAPE/MD出力)

■ SD部

ファイルシステム	FAT16、FAT32
再生フォーマット	MP3、WMA、WAV
録音フォーマット	MP3、WAV

■ USB部

ファイルシステム	FAT16、FAT32
再生フォーマット	MP3、WMA、WAV
録音フォーマット	MP3、WAV

■ Bluetooth部

通信システム	Bluetoothバージョン 2.1+EDR (Enhanced Data Rate)
対応プロファイル	A2DP 1.2 (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP 1.4 (Audio Video Remote Control Profile)
対応コーデック	SBC
対応コンテンツ保護	SCMS-T

スピーカーシステム部(D-NFR7)

形式	2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス	4Ω
最大入力	70W
定格感度レベル	83dB/W/m
定格周波数範囲	50Hz〜100kHz
クロスオーバー周波数	6kHz
キャビネット内容積	8.4リットル
外形寸法	164(幅)×282(高さ)×268(奥行)mm (グリルネット、ターミナル突起部含む)
質量	3.8kg
使用スピーカー	
ウーファー	13cm A-OMF MONOCOQUE型
ツィーター	3cm リング型
ターミナル	プッシュ式スピーカーターミナル
防磁設計	有(JEITA)
その他	グリルネット着脱可、 左右同一型、2台1梱包

ご相談窓口・修理窓口のご案内

■ 販売店の「長期保証」制度にご加入の場合は

保証の手続き上、お買い上げになった販売店様での受付けが必要となりますので、この場合は販売店様店頭への修理品お持込みをお願いいたします。

■ 「引取便サービス」による修理受付け

引取便サービスは弊社指定の配送業者が修理品を引取りに伺うサービスです。引取日時をご指定いただけます。

＜お電話でのお申込み＞

オンキヨーオーディオコールセンター　050-3161-9555
（受付時間：10:00〜18:00　土・日・祝日および弊社で定める休業日を除きます）

＜メールでのお申込み＞

http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
（ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能）

■ お近くの修理拠点へ「持込み」をご希望の場合は

下記のURLにて全国の修理拠点のご案内がございます。お持込みの際には営業日を確認のうえでご訪問いただくようお願いします。

http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
（ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能）

■ 商品についてのご相談、リモコン等付属パーツ、その他ご不明な点は

下記のオンキヨーオーディオコールセンターへご相談ください

オンキヨーオーディオコールセンター　050-3161-9555
（受付時間：10:00〜18:00　土・日・祝日および弊社で定める休業日を除きます）

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。
ホームページにサポート情報(http://www.jp.onkyo.com/support/audiovisual/index.htm)がございますので、そちらもあわせてご確認ください。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品等もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。修理を依頼されるときは、次の事項をオンキヨーオーディオコールセンター、または「ご相談窓口・修理窓口のご案内」記載の他の修理窓口までお知らせください。

- ▶ **製品の型番**
- ▶ **接続している他機器**
- ▶ **できるだけ詳しい故障状況**
- ▶ **ご購入店名**
- ▶ **ご購入年月日**

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、保証書をご用意のうえ、オンキヨー修理窓口またはお買い上げの販売店へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。販売店の「長期保証」制度にご加入の場合は、販売店様店頭への修理品お持込みをお願いいたします。

■ 保証期間経過後の修理は

オンキヨー修理窓口またはお買い上げ店へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後、最大8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでオンキヨー修理窓口等へご相談ください。

2013年7月現在　電話番号、受付時間などは変更になることがございます。